

**令和4（2022）年度**

**宇治市社会福祉協議会（コラボネット宇治）**

**事業報告**

---

～支え合い、助け合い、励ましあって、つながる福祉～

社会福祉法人 宇治市社会福祉協議会  
（コラボネット宇治）

## 目 次

令和4年度のふりかえり	2
第1章	
第4次地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画	3
第2章	
「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進	4
第3章	
各種相談からの生活課題、地域福祉課題の把握と解決	47
第4章	
法人運営及び財務運営の強化	59

## 令和4年度 ふりかえり

令和4年度は、緊急事態宣言等が出されなかったものの、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではありません。特に夏の時期の第7波、冬以降の第8波では、職員や職員の家族にも大きな影響があり、事業、取組みなどの運営にも、職員の協力によって乗り越えてきたところです。改めて、職員の健康と、事業の両立に悩まされた1年でした。そのため、事業の進捗にも影響があり、関係者の皆様にもご迷惑をかけることもありました。進捗管理や、関係団体との連携の大切さも再確認することになりました。

コロナ禍で迎えた3年目は、当会にとって設立70周年という節目でもありました。70年前、戦後の混乱の中から全国に誕生してきた社会福祉協議会は、コロナ禍において、住民主体で「お互いさま」の地域づくりを再確認したともいえます。小地域福祉活動の中心団体である学区福祉委員会でもつながりを絶やさない取組みを進められてきました。これまで行っていた会食会から、配食（拠点型配食含む）に切り替えたことで、「今まで参加されなかった人ともつながれた」という声もありました。コロナ禍で形態の見直しをせざるを得なかったことで、新たなことに気づくことができています。これは、住民が決めて、住民が動くからこそ発見できたことだと考えます。

一方で、少子高齢化が進む中で、当会が宇治市共同募金委員会と取り組んでいるサロン活動の支援などでは、申請助成件数も減少してきています。また、笠取第二学区福祉委員会も、活動の継続が困難として活動を終了することになりました。さらには、当事者団体からも、「活動が困難になってきている」との相談も寄せられています。いずれも福祉活動における「担い手」「支え手」の課題となっています。第4期宇治市地域福祉活動計画では、そのことを踏まえて、福祉活動における魅力ややりがいなどを、多くの人に知っていただくための工夫を続けていきます。宇治市からの受託事業でもある生活支援体制整備事業では、住民主体の地域福祉の中で不可欠な「対話」と「力合わせ」を行い、宇治市の協力のもと社会資源の整備にも力を尽くすことができました。多様で多元的な組織との対話と力合わせは、より一層大切にしていきたいところです。

さらに、宇治市の受託事業の中では、フレイル予防としての介護予防普及啓発事業（Bタイプリハビリ）や、介護者リフレッシュ事業などもコロナ禍で工夫をして取組みを進めてきました。宇治市災害ボランティアセンターでは、オンライン併用で会合、研修会などが開催されています。

緊急特例貸付は、令和4年9月末で終了しました。2年半以上にわたる貸付の中で、コロナ禍以前から生活状況が厳しい世帯などの状況も明らかになりました。物価上昇に伴う生活状況の悪化も見受けられました。また、福祉サービス利用援助事業では、世帯構成員の全体に福祉的な支援が必要な世帯からの相談も増えてきています。これらを踏まえ、人権尊重や権利擁護の視点を、全職員が持つべく、職員研修もその視点を大切に組み立ててきました。

コロナ禍で得た「英知」を、これからもより一層地域福祉推進に役立て、課題解決にあたっていきたいと考えています。

【アイコン表示について】各活動の財源が分かるアイコンを表示しています。

**宇治  
社協**

会費収入等の独自財源、基金の運用益を元にして実施する事業に表示。

**赤い  
羽根**

赤い羽根共同募金の配分金で実施する事業に表示。

**歳末  
募金**

歳末たすけあい募金の配分金で実施する事業に表示。

**利用  
負担**

参加者や利用者からの負担金により実施する事業に表示。

**補助  
委託**

宇治市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業に表示。

## 第1章 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、日常生活や地域福祉を取り巻く環境が混沌としている中で、従来の活動意義の再認識や新たな視点、方法を取り入れながら、多様な市民の参画を基盤とした地域福祉の推進のために、引き続き、第4次宇治市地域福祉活動計画の策定に取り組めます。

### 1. 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画



目 標／第4次宇治市地域福祉活動計画の策定

取組み／小地域ごとの状況や地域福祉活動の把握を行いながら、ウィズコロナ、ポストコロナの中での地域福祉を見据え、多様な市民が参画し、支え合う力を高めていくための活動計画の策定

令和3年度の策定委員会や、令和2年度のアンケート調査、また令和2年3月からの特例貸付の様子、令和4年度の物価高騰対策緊急生活支援事業の内容から、計画をまとめ、現在、策定委員へ確認をいただいているところです。今後の理事会で報告し、計画を推進してまいります。

## 第2章 「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進

様々な生活不安や寂しさを抱えている人を見守り、孤立させない地域づくりを進めるためには、従来の支える側、支えられる側という地域福祉活動の形にとらわれず、常に地域住民の関心事や不安を抱えている当事者の思いを共有しながら、地域の中での「共感」を高め、多様な住民が参画できる場づくりが必要です。当会として、その共感の場づくりを意識しながら、各種の地域福祉、ボランティア活動への支援に取り組みます。

- 宇治 補助 赤い 歳末  
社協 委託 羽根 募金
- ### 1. 学区福祉委員会等住民主体による活動への支援
- 目 標／学区福祉委員会等の住民主体による小地域福祉活動への助言や協働を通じて、それぞれの地域に即した地域福祉の拡充を進めます。
- 取組み／住民向け講座や研修会の協働を通じた学区福祉委員会等の活動団体への支援  
木幡学区での、住民交流拠点の継続開催（～コラボプラザ～「ふらっとこはた」の取組み支援）

#### (1) 学区福祉委員会への支援・協働

地域担当3名で宇治市内21の学区福祉委員会と1地区社会福祉協議会（西小倉学区・北小倉学区・南小倉学区）を担当して、役員会等への参加やコロナ禍での活動のあり方について情報提供を行いました。

コロナ禍以前は、学区福祉委員会のほとんどが、一人暮らし高齢者の会食会に取り組んでいましたが、コロナ禍で、人が多く集まる取組み、特に高齢者の会食会は、令和2年度、令和3年度に続き見合わせになりました。そこで、各学区福祉委員会では、「会食会で集まる」というスタイルではなく、配食やお弁当を近くの集会所などに取りに来てもらう方法（拠点型配食）に切り替え、高齢者の孤立を防ぐ取組みを行っています。

依然として、住民交流活動の多くは、自粛を余儀なくされましたが、一部の学区福祉委員会では、コロナ禍での感染症対策として、開催時間の短縮や飲食物は出さないなどの工夫をして、夏祭りや住民の交流の場に取り組みされました。

他にもコロナ禍で学区内の各種団体にも活動自粛がある中で、それぞれの団体の思いや抱えている課題、地域の関心事を共有する懇談会に参加しながら、団体の枠を横断した取組みを進めている学区福祉委員会もあります。

一方で、笠取第二学区福祉委員会においては、これまで炭山区、二尾区、池尾区の合同にて、小学校校区での地域福祉活動が行われてきましたが、各区の人口減少により、学区単位での活動が難しい状況にあった中で、令和4年度を以って活動を終了するとなりました。今後は、区ごとの地域事情に特化した小地域福祉活動に取り組まれることとなりました。当会としては、引き続き、地元の皆さんとのやり取りを通じての状況把握や情報提供に努めます。

現在、学区福祉委員会からは、「役員のなり手不足」「今の活動を引き継いでくれる人がいない」という声が挙がっています。一方で、「新たに福祉委員になっても活動が無い」という相談を受けることがあります。

学区福祉委員会の活動と何かの役に立ちたいとの思いで福祉委員に加わった人とのミスマッチが起きないよう、各学区福祉委員会内での役割や出番づくりのあり方の検討が必要です。

また、コロナ禍により、社会や地域のあり方がより一層変化している中で、今後の学区福祉委員会活動には、「地域で何かしてみたい」「ボランティアに興味がある」などの多様な住民が参加しやすいようなきっかけづくりと、集まった人たちが、あれこれ地域のことを話せる場が必要です。当会として、新たな人材発掘という視点からも、各学区において、多様な人が交わる場づくりを訴えながら、今後の学区福祉委員会への関わり、支援を進めます。

(役員会・幹事会、活動や協議の場への参加、対応)※主なもののみ記載

月	学区数	対応回数	主な参加、対応
4月	16	17	役員会、幹事会、総会にかかる協議、学区内サロンの見学
5月	13	17	役員会、幹事会 (Zoom 参加あり)、委員長との協議
6月	11	14	幹事会、学区役員との面談
7月	12	14	役員会、幹事会、研修打ち合わせ、学区及び地域包括支援センターとの協議
8月	6	6	役員会、幹事会、事業所会費依頼、サロン立上げ協議、配食活動見学
9月	19	19	役員会、幹事会、住民会費受取、共募資材伝達
10月	12	14	役員会、幹事会、友愛訪問活動への参加
11月	15	16	役員会、幹事会、歳末募金資材伝達、学区及び地域包括支援センターとの協議
12月	11	11	役員会、幹事会、事業所会費依頼
1月	9	9	役員会、幹事会、学区各種団体懇談会の協議
2月	8	9	役員会、幹事会、福祉農園取材
3月	14	18	役員会、幹事会、補助金に関する相談対応

## (学区福祉委員委員数一覧)

(単位:名)

学区名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
笠取	42	43	43
笠取第二	52	52	52
御蔵山	43	41	41
宇治	99	97	95
岡屋	54	54	51
南部	81	80	67
三室戸	81	78	69
菟道	74	70	61
菟道第二	118	117	112
神明	91	87	85
大開	54	50	46
大久保	56	58	47
西大久保	73	55	52
平盛	36	36	33
伊勢田	78	77	66
西小倉	12	12	12
北小倉	27	26	25
南小倉	15	14	14
小倉	78	84	75
槇島	77	75	70
北槇島	35	36	38
合計	1,276	1,242	1,154

## (学区福祉委員会総会開催状況)

	対面開催	書面報告または中止
令和2年度	0学区	21学区
令和3年度	10学区	11学区
令和4年度	7学区	14学区

## (学区福祉委員会が行う小地域福祉活動への各種補助金)

名称	①福祉活動費
目的	地域の特性や事情に応じた活動が展開できるよう、運営面での支援を図る
用途	学区福祉委員会の運営費、活動費
内容	学区福祉委員会を通じて、市内の各自治会・町内会に依頼をして、協力いただいた会費の20%を、学区福祉委員会の運営費として交付しました。また、学区福祉委員会を通じて協力のあった事業所会費の40%を運営費として交付しました。

名称	②事業費補助金
目的	地域の特性や事情に応じた、小地域福祉活動の推進を図る
用途	小学校区ごとに特色のある地域福祉活動を展開するための活動費
内容	1学区あたり、4事業までの実施で上限175,000円を交付 (A区分3事業150,000円、B区分1事業25,000円)
活動状況 (取組み例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学区福祉委員会による広報紙の発行</li> <li>・和太鼓の練習会を通じ、子どもの協調性を育てながら、地域住民と子どもたちとの交流の場づくり</li> <li>・学区内にある、ふれあいサロン同士の連絡会や交流会の実施</li> <li>・一人暮らし高齢者宅を訪問しての近況聞き取りアンケートの実施</li> <li>・安心カードを高齢者世帯に配布しながら、日頃からの顔の見える関係づくり</li> <li>・伝承遊び等を通じた学区内の小学校、幼稚園、保育園児と高齢者の交流活動</li> <li>・近隣の福祉施設を訪れ、見学や現状の理解、福祉委員同士の交流活動</li> </ul>

名称	③一人暮らし高齢者訪問活動事業補助金
目的	一人暮らし高齢者等の訪問活動を通じて、高齢者の見守りの拡充を図る
用途	月1回以上の訪問や生活支援時に配布する記念品等に要する費用
内容	1年を通じて見守り、声かけを行った対象者1人につき年額1,000円を補助
活動状況 (取組み例)	年度当初に見守り対象として把握した一人暮らし高齢者等に対して、学区福祉委員が日常生活の中での見守りや声かけによる安否確認を行っています。コロナ禍での感染リスクを(訪問者、対象者ともに)下げるという観点から訪問活動を控えたり、訪問を希望する人が減った地域もあります。一方でコロナ禍だからこそ見守りが必要という観点から、令和3年度より対象者数が増えた学区福祉委員会もありました。全体として、訪問対象者数は横ばいの状況が続いています。

(学区別一人暮らし高齢者等訪問事業実績) (単位:名)

学区名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
宇治	177	194	197
岡屋	100	89	77
南部	138	134	134
菟道	138	161	163
菟道第二	147	147	136
神明	175	204	182
大開	113	108	103
大久保	22	21	20
西大久保	94	87	80
伊勢田	132	124	128
小倉	174	159	172
西小倉地区社協	86	77	57
槇島	259	260	253
訪問対象者数	1,755	1,765	1,702

名称	④一人暮らし高齢者等給食サービス事業補助金
目的	一人暮らし高齢者等の給配食活動を通じて、高齢者の社会参加や孤立予防を図る
使 途	一人暮らし高齢者等の孤立予防や見守りを兼ねた会食会、配食活動に要する費用
内 容	1食あたり350円の補助
活動状況 (取組み例)	<p>年度当初に給食サービス事業対象として把握をした一人暮らし高齢者等に対して、会食会等への参加呼びかけを行いながら、孤立予防や声かけが行われてきました。令和3年度に引き続き、コロナ禍の影響で会食会の開催を企画(準備)しては感染の波を受けて配食(拠点型配食)等に変更するなどの対応を余儀なくされてきました。コロナ以前は、足が不自由などの理由で会食会の会場まで出向くことが難しく、参加を見合わせていた人もありましたが、拠点型配食になったことで、身近な集会所までならお弁当を受取りに行けるという人もあり、配食の希望者が増加して、食数が増えた地域もありました。結果として全体では提供食数は令和3年度を上回りました。コロナ禍前(令和元年度)の実績数(7,929食)まで復調してはいませんが、高齢者の増加、ロコミでの配食活動の広がり等を踏まえると、今後さらに食数が増える(ニーズが見込まれる)ことが予想されます。一方で配食を担う活動者が高齢となり、減少している地域が散見されるため、ニーズに見合った活動が継続されるか、注意深く見ていく必要があると考えます。</p>

(学区別一人暮らし高齢者等給配食サービス事業実績)

(単位:食)

学区名	給配食実績数(食)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
御蔵山	141	141	117
宇治	1,156	1,374	1,387
岡屋	63	125	100
南部	-	225	162
三室戸	594	585	534
菟道	177	184	193
菟道第二	243	178	194
神明	618	579	801
大開	258	165	457
大久保	52	233	234
平盛	-	-	-
伊勢田	-	-	85
小倉	387	542	628
西小倉地区社協	-	-	750
槇島	869	1,101	1,198
北槇島	-	51	52
合計	4,558	5,483	6,892

名 称	⑤歳末たすけあいふれあい事業補助金
目 的	一人暮らし高齢者等の年末・年始の激励を通じて、孤立予防を図る 安心、安全な地域づくりのために必要な、住民同士のつながりや交流を図る
使 途	年末、年始に行われる高齢者等への見守り活動、住民交流事業に要する費用
内 容	対象者一人につき年額1,000円(上限150人分)または、1学区福祉委員会 上限130,000円(住民交流事業の場合)
活動状況 (取組み例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニお節と年賀状配布による年末の声かけ訪問活動</li> <li>・ご近所の集会所にて、激励品を配布しながら、受取りに来られた一人暮らし高齢者への年末の声かけ、安否確認。</li> <li>・学区内の福祉施設で作られたおせち料理を持参しての声かけ活動</li> <li>・小学校での左義長の実施による住民交流活動(天候不良のため中止)</li> </ul>

## (2) 木幡学区内での住民交流拠点づくりと社協出張相談の場の検討

### 「コラボプラザ ふらっとこはた」の開催

令和3年度に引き続き、木幡学区福祉委員会解散後の取組みとして、木幡地域の“いま”や“思い”を語り合い、「こんなのがあればいいな」「こんな活動ができたらいいな」を共有し、学び合う懇談会を、毎月18日に定例で開催しました。

また、木幡学区内の住民誰もが立ち寄れ、交流や情報交換を行ったり、志を同じとする人同士で、新たな動きや活動を生み出していくきっかけづくりとなる交流拠点の開設を第4土曜日に定め実施しました。当日は、当会職員も参加し、相談を受けるという姿勢ではなく、身近なできごとの話を伺いながら、社協の活動を地域住民に知ってもらえるよう活動写真のパネル展示も行っています。

木幡地域の住民に特技を披露してもらう機会(観光名所の紹介や、ミシン裁縫、歌やバイオリン演奏など)や、自分にとっては不要であるが、誰かにとっては欲しい物になる可能性もあるのではという発案から「もらって下さいコーナー」などを設置しました。

(コラボプラザ ふらっとこはた 定例会メンバー)

六地蔵駅前の花壇整備などをされているグリーンボランティア／地域のふれあいサロン活動者／地元の民生委員／介護者家族の会や地元の木幡区の役員／木幡学区ウォークラリーへの参加を機につなごうとした人

(定例会) ※参加者には事務局人数含まず。事務局は毎回1～2名参加

日 時	①令和4年4月18日(月) 13:30～16:00 ②令和4年5月18日(水) 13:30～16:00 ③令和4年6月18日(土) 10:00～12:00 ④令和4年7月18日(月) 13:30～16:00 ⑤令和4年8月18日(木) 13:30～16:00 ⑥令和4年9月18日(日) 10:00～12:00	⑦令和4年10月18日(火) 13:30～16:00 ⑧令和4年11月18日(金) 13:30～16:30 ⑨令和4年12月18日(日) 13:30～16:30 ⑩令和5年 1月18日(水) 13:30～16:00 ⑪令和5年 2月18日(土) 13:30～16:00 ⑫令和5年 3月18日(土) 13:30～16:00
場 所	①、②、⑤、⑦、⑧ コミュニティワークこはた館 ③木幡地域福祉センター ①、④、⑥、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫ 木幡北畠集会所	
目 的	地域住民の思いを形にしなが、地域に関心を持つ参画者の輪を広げる 居場所(毎月第4土曜日)の開催について企画を行う	
参加者	①7名 ②9名 ③8名 ④8名 ⑤7名 ⑥8名 ⑦7名 ⑧9名 ⑨9名 ⑩6名 ⑪7名、⑫7名	
内 容	①～⑫を通じて ・木幡地域懇談会の方向性の確認 ・LINE ビジネスを活用した情報集約・発信 ・懇談会参加者同士にて、木幡学区内の身近な情報やできごとの共有 ・交流の場の具体的な内容、準備に向けての意見交換	
実施して	地域の福祉課題に限らず、住民同士で、地域のことについて、フラットに語り合い、学び合い、共にやってみるを繰り返すことを意識して懇談会を行いました。毎回、木幡地域でのできごとを共有したり、住民に関心を持ってもらうための企画やアイデアを出し合っています。懇談会を継続する中で、参加者からは「自分ができごと」の提案だけでなく、「やってみてはどうか」ということに対して、自分たち以外の誰かの力を借りる意識を持ち、声かけをしていくことが、地域福祉活動の参画者を増やしていくことにつながるという声も出ています。	

(コラボプラザ ふらっとこはた 居場所)

日 時	①令和4年4月23日(土)10:00~15:00 ②令和4年5月28日(土)10:00~15:00 ③令和4年6月25日(土)10:00~15:00 ④令和4年7月23日(土)10:00~15:00 ⑤令和4年8月27日(土)10:00~15:00 ⑥令和4年9月24日(土)10:00~15:00	⑦令和4年10月22日(土)10:00~15:00 ⑧令和4年11月26日(土)10:00~15:00 ⑨令和4年12月24日(土)10:00~15:00 ⑩令和5年2月25日(土)10:00~15:00 ⑪令和5年3月25日(土)10:00~15:00 ※1月は、積雪予報のため中止
場 所	①、③~⑪ 木幡地域福祉センター ②、宇治駅周辺(宇治川の戦いの散策)	
目 的	地域の方が、お互いにフラットな立場で、ふらっとおしゃべりに来て、自分が知らない情報を得たり、「地域の中にあつたらいいな」と思う活動の具現化を住民自らが進めたりする場にしていく	
参加者	①18名 ②10名 ③8名 ④19名 ⑤47名 ⑥23名 ⑦23名 ⑧24名 ⑨46名 ⑩44名 ⑪28名	
内 容	<p>(地域住民の特技を活かしたプログラム)</p> <p>① ロシア民謡の演奏と歌 ② 宇治川の戦いの散策 ③ ミシンでのティーマットづくり ④ コケ玉づくりワークショップ ⑤ 夏祭り・スーパーボールすくい・熱中症予防について ⑥ 宇治の秋の観光おすすめスポットについて ⑦ プチ無制限あそび ⑧ ミシンでの鍋つかみづくりワークショップ ⑨ コケ玉づくりワークショップ ⑩ 宇治の桜の名所について ⑪ マジックショー披露・プラバンづくり</p> <p>他にも「もらってくださいコーナー」と「ドライフラワークリップづくり」などを常設しています。</p>	
実施して	<p>少しずつ口コミで参加者も広がっていきました。また、夏祭りと呼んで、スーパーボールすくいなどを開催した8月以降は、子連れの参加者も増え、乳幼児連れでの参加が増えました。中には、お弁当を持ってきて、半日過ごす方などもおられます。また、毎回参加される中で、顔の見える関係などもできてきています。その関係性を活かし、今度は、その人が持っている特技や力を発揮してもらえるような働きかけや場面づくりを意識して進めることが重要です。</p>	

### (3) 地域ひとつなぎ事業助成による、小地域福祉活動団体への支援

喜老会活動や地域での住民支え合い活動等の小地域福祉活動の実施により、人と人とのつながりづくりを進める活動に対して、京都府社会福祉協議会からの助成金を通じた活動支援を行いました。

#### (令和4年度 地域ひとつなぎ事業の助成状況)

	団体名	戸別 訪問	配食	電話	その他	助成額(円)
1	特定非営利活動法人善法雇用促進協議会	○				35,000
2	南遊田第一喜老会	○				20,000
3	アルス・シルバー会	○		○	○	20,000
4	名木喜老会	○	○		○	20,000
5	南部学区福祉推進委員会	○	○			35,000
6	南陵町喜楽会	○	○	○		25,000
7	一里塚さわらび会	○	○	○		20,000
8	槇島東喜老会	○		○		20,000
9	神明学区福祉委員会	○	○		○	35,000
10	きらきらクラブ	○	○	○		25,000
11	城南荘喜老会	○		○	○	25,000
12	砂田喜老会	○		○		20,000
13	伊勢田喜老会	○	○	○		25,000
14	西大久保自治喜老会	○	○			20,000
15	宇治学区福祉委員会	○	○	○	○	35,000
16	神明栗駒喜老会	○		○		20,000
17	南大久保喜老会	○		○	○	20,000
18	志津川喜老会	○		○		20,000
19	中宇治喜楽会	○				25,000
20	おりさか悠々クラブ	○	○		○	25,000
21	小倉第一喜老会	○	○			20,000
計	21団体	21	11	12	7	510,000

### (4) 学区福祉委員会連絡協議会への支援

学区福祉委員会連絡協議会の事務局として、代表者会議(2回)の運営を支援し、当会からの運営費補助を元に下記の事業に取り組むとともに、外部団体(宇治市要保護児童対策協議会、宇治市共同募金委員会、宇治市地域福祉推進委員会)への委員を選出しました。学区福祉委員強化月間(2月1日～3月31日)として、福祉委員募集ポスターを各学区福祉委員会に配布するとともに、市政だよりへの掲載(3月15日号)、社協だより(3月15日号)で福祉委員募集の記事掲載やFMうじへの出演を行いました。高齢化等の理由により、年間で102名の福祉委員の退会があった一方で、強化月間中に、43名の新規加入がありました。

また、学区福祉委員会の取組みの際に、役立つものをと協議し、各学区福祉委員会より情報を集め、脳トレ問題集を作成し、配布しました。

(代表者会議)

日 時	①令和4年9月14日(水)19:00~21:00 ②令和5年3月22日(水)19:00~21:00
場 所	①、②宇治市総合福祉会館
目 的	各学区福祉委員会がどのような取組みを行っているのか、学区福祉委員会連絡協議会としてどのような事業が必要かについて確認する
参加者	①学区福祉委員会代表者17名(17学区)、事務局3名 ②学区福祉委員会代表者22名(20学区)、事務局5名
内 容	①令和4・5年度の役員改選、各学区福祉委員会の活動の共有、令和4年度の事業計画・予算について、他組織への役員派遣について ②令和4年度事業実施状況及び執行状況について、令和5年度の事業計画の内容について、各学区福祉委員会の活動の共有
実施して	代表者会議にて、他の学区福祉委員会の活動を知る機会を設けることで、活動内容の共有を図りました。そのことで、他の学区福祉委員会の取組みを知り、自団体の活動の参考にしていただければと考えています。令和4年度は2回の開催につき、情報共有までに留まる結果となりました。今後も、宇治市内全体の学区福祉委員会の連絡協議会として、スケールメリットを活かした活動を推進していきます。

(第10回きょうと地域福祉活動実践交流会(京都府版サミット)への参加)

日 時	令和5年1月21日(土) 13:00~16:15
場 所	宇治市産業会館(オンラインでの参加) 【主催者実施場所】精華町地域福祉センターかしのき苑
目 的	京都府内の地域福祉活動の実践を共有し、今後の活動に生かしていく
参加者	12学区25名、事務局 4名 計29名
内 容	第10回きょうと地域福祉活動実践交流会 お茶の京都から元気発信~さあ!コロナ禍から新しい活動へ~ 【講演】「コロナ禍において、今、地域福祉活動に求められていること」 講師:酒井 保 氏(ご近所福祉クリエーター) 【実践報告・パネルディスカッション】 ・山城小助け隊(おたすけたい)アッピー(木津川市) ・株式会社 花駒(精華町) ・わかみなチャンネル(笠木町・和東町・南山城村) コーディネーター:酒井 保 氏(ご近所福祉クリエーター) 【グループワーク】 参加者によるグループワーク まとめ:酒井 保 氏(ご近所福祉クリエーター) 【説明】 京都府内における重層的支援体制整備事業について 山下 憲昭 氏(京都府重層的支援体制構築アドバイザー)
実施して	参加をされた学区福祉委員会からは、他の市町村の事例が聞いて勉強になったという声がありました。 企業等の連携の方法など、宇治市内の学区福祉委員会でも模索していきます。

(福祉委員会交流研修の開催)

日 時	令和5年3月23日(木) 10:00~12:00
場 所	宇治市総合福祉会館 大広間
目 的	地域包括支援センターに寄せられる相談事例を聞くことで、地域の高齢者の現状を知る 宇治市内の地域福祉活動の実践を共有し、今後の活動に生かしていく
参加者	17学区34名、事務局 2名 計36名
内 容	【講演】「地域包括支援センターに寄せられている相談事例より」 講師: 中宇治地域包括支援センター センター長 物部凡子 氏 (宇治市福祉サービス公社) 事例発表 コロナ禍での学区福祉委員会の取組みや現状について 笠取学区福祉委員会 委員長 岸本 幸三 氏 槇島学区福祉委員会 委員長 佐久間 好子 氏 伊勢田学区福祉委員会 委員長 石田 繁子 氏 質疑応答
実施して	高齢者からの相談内容や介護保険サービスの現状を教えていただき、地域で必要な福祉活動について考える機会となりました。質疑応答では、介護保険制度の実際についての質問も多くありました。 例えば、住宅改修で介護保険を利用したことで、B タイプリハビリ事業の利用ができなくなることについて、住宅改修の他の方法として「宇治市介護予防安心住まい推進事業」があることの回答もあり、参加者からは「初めて知った」との声もありました。また、事例発表でも、他の学区の活動の工夫を知る機会になりました。

(福祉委員の募集の強化月間)

日 時	令和5年2月1日(火)~3月31日(金)
目 的	福祉委員を募集し、活動の後継者や、活動に参加する市民の裾野を広げる
参加者	21学区福祉委員会
内 容	①社協だより 3月15日号 掲載 ②市政だより 3月15日号 掲載 ③各学区独自の広報紙の作成 ④ポスター掲示物の配布 ⑤FM うじへの出演
実施して	令和4年度は、福祉委員募集の強化月間を通じての加入は43名、年間を通しての退会者は102名でした。毎年、新規に福祉委員に登録される人はありますが、退会者が新規加入者数を大幅に上回ることがあるため、福祉委員全体としての人数は、減少傾向にあります。

(福祉委員募集の強化月間推移)

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規加入者	41	36	43
退会者	28	71	102

## 2. 多様な住民の語り合いの場づくり

目 標／身近な関心事や不安を抱えている当事者の思いを共有できる場づくりを通じて、多様な住民の参加、参画を進めます。

取組み／小学校区を基盤に、多様な住民が思いを持ち寄り、学び合い、共に取組みを進めていける場づくり

伊勢田小学校区にて、PTA 関係者、生活支援コーディネーター（以下、「SC」）など、様々な地域活動に携わっている団体・関係者が集まり、地域での関心ごとや各団体の活動状況と課題などを共有する懇談会を開催しています。顔を合わせる機会を積み重ね、お互いが自由に話し合える場にすることを意識しています。現在は、参加者から出た意見を元に、子どもの見守り活動と高齢者の活躍の場づくりを共に進めるプロジェクトに取り組んでいます。他地域に拡げるところまでに至りませんでした。地域や各団体の課題を地域内の対話から考えていききっかけにもつながっており、対話の重要性を感じています。

### （懇談会前事前協議）

日 時	①令和4年5月19日(木) 19:00~21:00 ②令和4年7月15日(金) 19:00~21:00 ③令和4年8月30日(火) 19:00~21:00	④令和4年11月21日(月) 19:00~20:45 ⑤令和4年 2月 7日(火) 19:00~20:45
場 所	①伊勢田南集会所 ②オンライン ③~⑤西小倉地域福祉センター	
メンバー	伊勢田小 PTA 会長(兼伊勢田学区)／伊勢田小 CS コーディネーター／生活支援コーディネーター／長寿生きがい課／西宇治地域包括支援センター／宇治市社協	
参加者	①5名 ②9名 ③10名 ④8名 ⑤9名	
内 容	①伊勢田学区地域懇談会の開催に向けて ②第1回懇談会振り返り／伊勢田ふれあいプロジェクトの方向性について ③第2回懇談会に向けて(子どもの見守り・高齢者の社会参加づくりについて) ④第2回懇談会振り返り／子どもの見守り隊実施状況について ⑤第3回懇談会に向けて(プロジェクト趣旨の再確認・意見交換方法について)	

### （伊勢田ふれあいプロジェクト懇談会）

日 時	①令和4年 6月 9日(木) 19:00~21:00 ②令和4年10月19日(水) 19:00~21:00 ③令和5年 3月20日(月) 19:00~21:00
場 所	伊勢田小学校
参加者	①学校3名、関係団体17名、SC1名、西宇治地域包括支援センター2名、長寿生きがい課2名、市社協1名 ②学校3名、関係団体11名、SC1名、西宇治地域包括支援センター2名、長寿生きがい課2名、市社協1名 ③学校3名、関係団体15名、SC1名、西宇治地域包括支援センター2名、長寿生きがい課3名、市社協1名
内 容	①伊勢田ふれあいプロジェクトの目的確認／各団体の活動への思いの共有 ②伊勢田ふれあいプロジェクトの方向性／意見交換(こどもの見守り等) ③子どもの見守りと住民参加の場としての伊勢田小学校でのラジオ体操の実施において

実施して	「することを先に決めず」、学区内の活動団体同士の状況や活動への思い、地域の関心事を共有することを第一に開催しています。懇談会メンバーには、学校関係、子ども分野、高齢者分野、青少年分野など、様々な分野の人が関わっていることから、今後、分野を横断した取り組みを進める土台づくりが進んでいます。令和4年度は、「高齢者の社会参加や生きがいづくり」の一つとして、「子どもの見守り活動」に参加してもらおうというプロジェクトが立ち上がりました。具体的には、登校時間に合わせて学校敷地内でラジオ体操を行い、高齢者を始め、ご近所の人に参加いただき、子どもとの顔見知りを増やして、それを子どもの見守りの力につなげていく準備を進めています。
------	---

### 3. Hot!ふれあいサロン活動への支援 補助 歳末 委託 募金

目 標／Hot!ふれあいサロン（以下「サロン」）活動を通じた、身近な人と人とのつながりを絶やさない取組みを支援します。

取組み／市内のサロン活動のネットワークづくりとサロン交流会・研修会の実施  
参加希望者のマッチング、サロン活動者への情報提供  
新たなサロンの立ち上げ支援

令和4年度は、コロナ禍ではあるものの、活動を再開されたサロンや、令和3年度に引き続き、つながりを絶やさない活動（訪問活動や電話、オンラインツールを活用した見守りなど）が行われました。室内で活動を実施する場合は、マスク着用、手指の消毒、人数制限や二部制・時間短縮など、感染対策をしながら開催されました。また、室内ではなく公園など屋外での活動を積極的に取り入れられたサロンもありました。コロナ禍で「対面でのコミュニケーションの大切さを改めて感じた」という声もあり、厳しい状況下でも地域の住民同士のつながりを大切にされていることがわかりました。一方で、令和4年度を以って解散したり、登録を止めるサロンもありました。その理由として、「サロンのお世話役が居ない」「参加者が坂の上の集会所まで行けない」「サロンの事務手続きを控えたい」などもありました。

#### (1) サロン助成金交付推移と一覧

令和4年度は、90件のサロン申請（助成金申請サロン81件、登録のみサロン9件）があり、宇治市共同募金委員会を通じて、81件のサロンに助成金交付が行われました。その後、新型コロナウイルス感染症の影響や参加者の減少を受けて、活動を見合わせたサロンが4件ありました。また、年度途中で活動を休止したサロンも6件ありました。

#### (サロン数と分類) 全体90団体

(単位:団体数)

サロン分類	高齢者	障害者	子育て	多世代(高齢・障害・子育て・児童)	その他
箇所数(割合)	74(82.2%)	1(1.1%)	5(5.6%)	8(8.9%)	2(2.2%)

(サロン登録数及び助成金交付の推移)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
助成金総額(円)	3,100,000	2,750,500	2,553,500
	(返金後額) 3,052,194	(返金後額) 2,652,500	(返金後額) 2,418,756
登録数( )内は登録のみサロン数	104(8)	103(15)	90(9)
新規登録数	2	3	4

※助成決定額:年度当初に申請を受けて決定した額/助成確定額:年度終了時の活動実績に基づいて確定した額

(登録・助成金交付サロン一覧)

	登録	サロン名	類型	会場校区	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1		HOTふれあいサロンかようかい	地縁	小倉	55,000	55,000
2		一福会	地縁	南部	37,000	37,000
3		野神ふれあいサロン	地縁	菟道第二	19,000	19,000
4		うたごえ喫茶のびのび	テーマ	宇治	13,000	8,256
5		ホットサロンやすらぎ	地縁	榎島	37,000	25,000
6		風車の会	地縁	宇治	19,000	19,000
7		Hot!ふれあいサロン「京かのこ」	地縁	木幡	19,000	19,000
8		ミニホットサロンひまわり	地縁	大久保	19,000	19,000
9		サロン広芝	地縁	宇治	19,000	19,000
10	○	御蔵山サロン	地縁	御蔵山	-	-
11	○	明星ホットサロン	地縁	三室戸	-	-
12		サロンピノキオ	地縁	木幡	19,000	19,000
13		ほっとふれあいサロンひまわり	地縁	宇治	10,000	10,000
14	○	よもやま会	地縁	北小倉	-	-
15		おこしやす	地縁	宇治	31,000	31,000
16		ともしび	地縁	西大久保	43,000	43,000
17		HOTふれあいサロン権現	地縁	菟道第二	13,000	13,000
18		フレンドサロン	地縁	南部	19,000	19,000
19		南山ふれあいサロン	地縁	御蔵山	37,000	37,000
20		もみじ会	地縁	大久保	19,000	19,000
21		折鶴サロン	地縁	菟道	36,000	21,000
22		どんぐりっこ	テーマ	伊勢田	55,000	55,000
23		喜楽会	地縁	榎島	19,000	19,000
24		ポヨポヨキッズ	テーマ	菟道第二	37,000	37,000
25		サロンお茶の子会	地縁	南部	19,000	19,000
26		ほっこりスペース あい	テーマ	御蔵山	55,000	55,000
27		HOTふれあいサロンあじさい	地縁	小倉	49,000	49,000
28		華連グループ	地縁	神明	19,000	19,000
29		むらさき気楽会	地縁	榎島	55,000	55,000
30		ホットサロンゆうゆう	地縁	岡屋	24,500	24,500
31		ふれあいサロンやよい	地縁	木幡	19,000	19,000
32		フリースペース「おやすみ」	テーマ	西小倉	55,000	55,000

33		白寿お茶飲み会	地縁	宇治	19,000	19,000
34		くりくま健功会	健康	大久保	55,000	55,000
35		楽しく料理を作ろう会	テーマ	北槇島	19,000	19,000
36		北槇ハーモニー	地縁	北槇島	55,000	55,000
37		生き生き教室203	健康	小倉	37,000	37,000
38		サロン妙楽	地縁	菟道	19,000	19,000
39		北内Hot!ふれあいサロン	地縁	槇島	25,000	25,000
40		子育てママのアカラグループ Twinkle Tweety	テーマ	岡屋	19,000	13,000
41		サロン車田	地縁	南部	19,000	19,000
42		ハモフレ	テーマ	神明	55,000	55,000
43		開ひまわり会	健康	神明	37,000	37,000
44		丸山はづきの会	地縁	南部	19,000	19,000
45		下村ほっとサロン	地縁	槇島	25,000	25,000
46		ホットふれあいサロンつるかめ	地縁	槇島	19,000	19,000
47	○	ほっとほっとサロン	地縁	宇治	-	-
48		色えんぴつ	地縁	御蔵山	55,000	55,000
49		おやこサロン にこにこたち	テーマ	菟道第二	19,000	13,000
50		ワクワク光	地縁	菟道	19,000	19,000
51		サロン槇の島	地縁	槇島	25,000	13,000
52	○	サロンふれあいの森	地縁	槇島	-	-
53		冒険遊び場うさぎはらっぱであそぼうよ!	テーマ	宇治	19,000	19,000
54		天神台ふれあいサロン絆	健康	神明	37,000	37,000
55		Hot!ふれあいサロン田原	地縁	西大久保	19,000	19,000
56		サロン白川	地縁	菟道	25,000	25,000
57		サロン絆	地縁	伊勢田	31,000	31,000
58		サロンいきいき	健康	槇島	30,000	30,000
59		文化サロン「ゑん」	テーマ	大久保	19,000	19,000
60		落合元気アップ教室	健康	北槇島	19,000	0
61	○	サロン「水仙」	地縁	神明	-	-
62		福寿会	地縁	南小倉	13,000	13,000
63	○	あおぞら会	健康	木幡	-	-
64		放課後山の遊び場 KULKUL	テーマ	笠取第二	55,000	19,000
65		アルス、シルバー会	テーマ	木幡	31,000	31,000
66		羽戸山サロン	地縁	宇治	49,000	49,000
67		縁が和サロン	地縁	小倉	55,000	55,000
68	○	なかよし会	健康	木幡	-	-
69		ホットサロン月夜	地縁	槇島	37,000	37,000
70	○	イキイキの会	健康	槇島	-	-
71		南陵台ふれあいサロン「和み」	地縁	小倉	55,000	55,000
72		わかさ会	健康	菟道	20,000	20,000
73		城南荘 木曜カフェ	地縁	大開	37,000	37,000
74		金曜サロン	地縁	岡屋	55,000	55,000

75	サロン山の家	テーマ	笠取	55,000	55,000
76	かもめサロン麻雀倶楽部	地縁	大開	37,000	37,000
77	カフェすみやま	テーマ	笠取第二	25,000	25,000
78	笑う門には福来るの会	健康	神明	31,000	19,000
79	南陵町健康サロン「健やか」	健康	小倉	43,000	43,000
80	楽楽クラブ	テーマ	菟道	37,000	31,000
81	むらさき気楽会(木曜日)	健康	槇島	55,000	55,000
82	サロンおこしやす	地縁	神明	19,000	19,000
83	ユニエスさくら	健康	菟道第二	55,000	55,000
84	南陵台友愛サロン「フレンズ」	地縁	小倉	37,000	37,000
85	サロン巨椋	地縁	槇島	37,000	37,000
86	しゃべり場カフェ	テーマ	宇治	12,000	12,000
87	ほっと!スマイル	地縁	大開	19,000	19,000
88	子育てサークルそよかぜ	テーマ	菟道	19,000	19,000
89	おやこサロン mimosa	テーマ	伊勢田	37,000	31,000
90	Anco kids	テーマ	菟道	19,000	19,000

## (2) サロン研修会の開催

身近な地域での活動は、歳を重ねても継続されることが望ましいと考えます。そのため、運動・移動の基本である歩くことを、運動学の観点から、ウォーキングが心身にもたらす効果を学び、正しい歩き方についての演習を実施しました。



サロン研修会の様子

### (サロン研修会の実施) ※ボランティア研修会の一部として実施

日時	令和5年1月17日(火) 14:00~16:00
場所	宇治市総合福祉会館 大広間
目的	人間の最も基本的な日常動作のひとつである「歩くこと」について、専門的な視点からの講演、演習を通して、歩くことの効能や大切さを学び、担い手自身が楽しく健康維持増進に取り組み、歳を重ねても身近な地域での活動を、継続してもらうこと
参加者	37名
内容	【講演】「～ 改めて『歩く』を考える ～」 講師: 京都文教短期大学 食物栄養学科 准教授 久米 雅 氏 ウォーキングの効果、正しい歩き方、注意事項、自宅でできるストレッチ
実施して	参加者の多くは、70代でした。演習では、改めて自身の歩様や歩幅を考えながらも楽しんでいる様子うかがえました。自身や周囲の人の健康維持に努めていきたいという感想や、歩くことの大切さを痛感したという声もありました。研修会での学びをご近所の人と共有して実践されることは、今後のサロン活動でのフレイル予防意識の向上につながるものと考えられます。

### (3) サロン活動者懇談会「サロンのためのサロンSalon for salon」の実施

ふれあいサロン活動者同士が主体的に日頃の思いや悩み、課題等を共有できる場づくりの一つとして、市内のふれあいサロンのネットワークづくりを目的に、趣旨に賛同いただいたサロン活動者による懇談会を実施しました。令和4年8月に参加者同士で懇談会の名称を Salon for salon と決めました。

#### サロンのためのサロン (Salon for salon)

日 時	①令和4年 4月19日(火) 10:00~12:00 ②令和4年 6月28日(火) 10:00~12:00 ③令和4年 8月30日(火) 10:00~12:00 ④令和4年10月25日(火) 14:00~16:00 ⑤令和4年12月13日(火) 10:00~12:00 ⑥令和5年 2月14日(火) 10:00~12:00
場 所	宇治市総合福祉会館
目 的	サロン活動での日頃の思いや悩み、課題等を共有し、サロン活動者の主体で進める市内のふれあいサロンのネットワークづくり
参加者	①7名(6サロン) ②8名(7サロン) ③8名(7サロン) ④6名(6サロン) ⑤5名(4サロン) ⑥8名(7サロン)
内 容	①どのようにしてサロンを知ってもらうか ~サロンに関わる人を増やしていく方法~ ②私達が工夫しているプログラムの紹介 ~アイデア交換会~ ③紹介されたプログラムを実施してみた感想 ~サロンで喜ばれたプログラムは~ ④紙コップを使って遊ぼう! ~あるものでやってみよう~ ⑤あるものを使って遊ぼう!PART2 ~こんな遊びしてみた~ ⑥脳トレ紹介 ~回想法ライブラリー・昔の道具~
実施して	お互いサロン活動をされている同士で、活動の工夫など情報共有の場となっています。自分たちの活動に取り入れてみるなど、お互いのサロン活動を知り、他のサロンとのつながりができるなど、参加者それぞれの刺激となっています。今後も、広くサロンに呼びかけながら、サロン活動者の主体的な参加につなげていきます。

#### (オンラインサロン)

日 時	①令和4年4月18日(月) 13:30~15:00 ②令和4年5月16日(月) 13:30~15:00 ③令和4年6月22日(水) 10:30~12:00 ④令和4年7月27日(水) 10:30~12:00 ⑤令和4年8月24日(水) 10:30~12:00 ⑥令和4年9月21日(水) 10:30~12:00	⑦令和4年10月19日(水) 10:30~12:00 ⑧令和4年11月16日(水) 10:30~12:00 ⑨令和4年12月21日(水) 10:30~12:00 ⑩令和5年 1月18日(水) 10:30~12:00 ⑪令和5年 2月15日(水) 10:30~12:00 ⑫令和5年 3月15日(水) 10:30~12:00
場 所	Zoom によるオンライン	
目 的	コロナ禍を機に、一同に集まらなくても、気軽にふれあいサロンや身近な関心事の情報交換ができるようなオンラインによる交流の場づくり	
参加者	各回4~5名	
内 容	①地域のお付き合いにインターネットはどうでしょうか ②傾聴ボランティアサークルかかしの話 PART I ③もう一度、折居台自治会のホームページの話	

	④エコ・アクション・ポイントの話 ⑤妻がコロナになりまして顛末記 ⑥フレイル予防体操の話 ⑦ミュージアムぐるっとパス関西の話 ⑧今年はどんな年でしたか ⑨傾聴ボランティアサークルかかしの話 PART2 ⑩子どものころの遊びや生活で現代の生活に活かせるものは？ ⑪この冬、私はこうして防寒しました ⑫マスクはどうしましょうか
実施して	開催を重ねる中で、オンライン上で参加者同士の顔の見える関係が培われてきました。その関係性があるからこそ、ふれあいサロンに限らず、日ごろ気になっていることや、季節の話題など、参加者が自由に発言、交流できる場となっています。一方で、オンラインに馴染みの無い方に参加してもらえよう、今後も呼びかけの工夫が必要となっています。

#### 4. 宇治ボランティア活動センターの運営支援によるボランティア活動の拡充

宇治 補助  
社協 委託

目 標／市民主体によるセンター運営への支援を通じ、ボランティア活動の拡充を図ります。

取組み／市民との協働によるボランティア活動センターの運営

広く市民がボランティアに参画できるきっかけづくりやコーディネート

##### (1) 宇治ボランティア活動センター運営委員会へのかかわり

宇治ボランティア活動センター（以下、活動センター）では、毎月役員会と運営委員会が定例開催されています。当会からは担当職員が活動センターの副事務局長として参画し、役員会への出席、運営委員会への情報提供、活動センター宛の文書の受付や他機関からの依頼事項の伝達、催しの広報活動、各種申請手続き、運営委員間の連絡調整等を行いました。当会として、市民とのパートナーシップを大切にしたい、活動センターの協働運営に重点を置いていることから、運営委員による主体的な活動センターの運営に必要な支援や、当会の取組みへの参加協力の調整を行いながら、地域福祉の推進やボランティア活動の拡充を行っています。

開始2年目となる、SDGs 清掃ボランティア活動は、初めてボランティアに参加する人の活動のきっかけになると共に、障がい当事者や福祉施設関係者と一緒に活動ができる場として、広報チラシの作成や参加者の呼びかけに協力しました。

令和4年3月から始まった、日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いをする「生活応援隊」は、年間70件余りの依頼に対して活動が行われました。当会としては、ボランティア活動を始めたいという相談者に生活応援隊のサポーターへの登録を勧めたり、活動紹介チラシを各学区福祉委員会等の会議で配布するなどの側面的なサポートを行いました。

今後の活動センターの運営においては、約200名の個人登録ボランティアを始め、誰もが参加できるボランティア活動の機会づくりをさらに意識した取組みを進めるとともに、運営委員として活動センターに参画してもらえよう人の輪を拡げていくことが大切です。

## (2) 運営委員会との協働による取組み概要

実施日(頻度)	事業名	実施場所
毎月1回	役員会	総合福祉会館
毎月1回	運営委員会	総合福祉会館
毎月11日	イエローレシートキャンペーン(店頭での団体PRは中止)	イオン久御山
年数回	宇治市災害ボランティアセンターへの参画	総合福祉会館
奇数月	情報紙「パートナー」発行	総合福祉会館
奇数月第2日曜日	ボランティアマッチングサロン	総合福祉会館
概ね月1回	生活応援隊定例会	総合福祉会館
5月~12月	京都文教大学ボランティア演習による学生受入れ(春・秋)	総合福祉会館
例年6月予定	宇治市障害者スポーツ大会への協力 →新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	西宇治体育館
4月23日(土)	第28回定期総会	総合福祉会館
6月19日(日)	バリアフリー上映会	総合福祉会館
6月27日(月)	団体・個人登録者会館清掃交流	総合福祉会館
7月22日(金)	ヒューマンライブラリーの開催	総合福祉会館
9月14日(水)	運営委員研修	人と防災未来センター
10月1日(土)	赤い羽根共同募金への協力 →街頭募金活動への参加・グループ募金協力	宇治市内等
10月7日(金)	宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座 →宇治ボランティア活動センターの活動紹介	宇治市役所
10月30日(日)	ボランティアフェスティバル&思いの駅伝 団体・個人のステージ発表、パネル展示、過去の思いの駅伝 動画の放映	総合福祉会館
8月5日(金) 12月2日(金) 12月23日(金)	「はじめよう!セカンドライフ」講座	生涯学習センター
10月27日(木)	宇治市身体障害者協会主催のボッチャ大会への協力	西宇治体育館
11月3日(祝・火)	宇治青年会議所(JC)主催のワンリンクフェスタへの協力	太陽ヶ丘
2月25日(土)	令和4年度 健康長寿フェス2022への出展	生涯学習センター
3月19日(日)	SDGs清掃活動ボランティアの実施	興聖寺周辺



宇治ボランティアフェスティバル



SDGs 清掃活動ボランティア

## 5. 加入団体と連携した宇治市災害ボランティアセンターの運営

目 標／日常の延長上にある「災害時」を意識し、災害時にも強いまちづくりに寄与します。  
取組み／総会や訓練、運営委員会において災害時を意識した「日常の関係づくり」の構築

新型コロナウイルス感染症の拡大を機としたオンラインによる会議や ICT の活用は、平常時を始め災害時の災害ボランティアセンターの運営に必要な不可欠となっています。

令和4年度も、日ごろからの「顔の見える関係づくり」を理念に、災害時に、個人、地域、団体、組織等のつながりの力を活かせるよう、オンラインを併用した運営委員会や研修会に取組みました。

また、災害廃棄物処理にかかるワークショップへの参加や自主防災会の皆さんとともに避難所設置訓練を行いました。他にも、宇治市の防災訓練にて、災害時のボランティアセンターの様子を掲載したパネル展示を通じて、参加者に宇治市災害ボランティアセンターの PR を行いました。

8月には「京都府南部地域豪雨災害から10年に向けてのメッセージ」を発信しました。また、当時の災害ボランティアセンターの様子を記載した B2判パネルの作成を行いました。

### (1) 運営体制の強化

#### (第15回総会)

日 時	令和4年6月11日(土) 9:30~12:00
実施場所	宇治市総合福祉会館 大広間・301号
参加者	36団体69名(会場40名、オンライン3名、委任状26名)※正会員76団体中 来賓2名(宇治市・京都府災害ボランティアセンター)、事務局3名
実施内容	(議事) ・令和3年度事業報告・決算報告 ・令和4年度事業計画・予算 ・次期運営委員の選出(任期2年) (講演・意見交換) 講演「地域の力が活きる災害ボランティアセンターとは」 意見交換「あなたの団体が災害ボランティアセンターにかかわる意義」 講師:京都府災害ボランティアセンター副代表 高桑鉄則氏
実施して	意見交換は、学区福祉委員や障がい等当事者、民生児童委員、ボランティア団体等、活動や状況が共通している人同士のグループにて行いました。「聴覚障がいの場合、見た目では判断がつかず取り残される心配がある」や「加入団体として、自分たちの活動は災害時に何ができるか考えることが大事」などの意見がありました。講師からは、「日頃からの顔の見える関係づくり」には、加入団体が思い思いに参加できる「土手の花見」のような、場が大切という提案をいただきました。

#### (運営委員会)

日 時	①令和4年 7月27日(水) 19:00~21:00 ②令和4年11月25日(金) 19:00~21:00 ③令和5年 2月17日(金) 19:00~21:00
場 所	宇治市総合福祉会館／オンライン

参加者	①会場参加13名 オンライン参加0名 欠席6名 ②会場参加12名 オンライン参加1名 欠席6名 ③会場参加 9名 オンライン参加2名 欠席8名
内 容	①新運営委員による自己紹介・事業計画の実施に向けて ②宇治市防災訓練・運営委員研修(LINEWORKS の活用)・全体研修・訓練の内容・ICT を活用した宇治市災害ボランティアセンターの運営について ③次年度の事業計画・予算案について
実施して	いずれもオンライン併用にて実施しました。運営委員会では、災害時に支援が届きにくい当事者への取り組みや地域団体との連携強化の意見がありました。また、ICT を活用した災害ボランティアセンターの運営に向けて、外部の専門家にも入ってもらい環境整備を進めることが確認されました。

### (運営委員研修会)

日 時	令和4年12月14日(水)19:00~21:00
場 所	宇治市総合福祉会館 大広間/オンライン
内 容	【講演】「LINEWORKS を使ってみよう!」 講師:NPO 法人 まちづくりねっと・うじ
参加者	運営委員10名
実施して	災害時に運営委員同士の連絡、情報共有ができるようチャット機能を有するLINEWORKS の試験運用を始めました。運営委員同士の連絡や情報交換がしやすくなったため、災害時にも大いに生かせるという声があります。但し、使用の範囲は、連絡・情報共有としており、協議が必要な事項は、必ず運営委員会にて行うことや行政担当者への個別質問は避けるなど、運用ルールの協議・確認を行いました。

### (全体研修・訓練)

日 時	令和5年2月23日(祝・木)10:00~12:30
場 所	東宇治地域福祉センター/オンライン
内 容	【研修・訓練】 「被災時に支援が届きにくい相談に対する災害ボランティアセンターの役割とは」 講師:大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター 青山織衣氏
参加者	参加者合計59名 【会場】小計46名 加入団体29団体43名(うち運営委員13名)・要約筆記2名 オンライン用要約1名 ※6グループを設置 【オンライン】小計13名 加入団体11団体11名(うち運営委員2名) オンライン要約2名
実施して	災害ボランティアセンターは、泥出し等の作業ボランティアを調整するだけでなく住民の様々な相談を受け、地域団体や専門機関と協働して、住民が元の生活を取り戻せるよう支援することが本来の役割であることを、参加者に再認識してもらえらる機会となりました。また、オンライン参加者の中に字幕希望者があったため情報保障としてZoom に要約筆記を付ける団体に協力をいただきました。オンラインでの情報保障のあり方を学ぶ機会となったと同時に当センターとして新たな団体とのつながりを生み出すことができました。



全体研修・訓練の様子

## (2) 災害ボランティアセンターのPR

運営委員とともに、宇治市防災訓練に参加し、リーフレットの配布や京都府南部地域豪雨災害時の記録パネルを展示しながら、宇治市災害ボランティアセンターのPRを行いました。

### (京都府南部地域豪雨災害シンポジウムへの参加とパネル展示)

日時	令和4年7月24日(日)14:00~16:00
場所	京都大学宇治おうばくプラザ きはだホールロビー
内容	京都府南部地域豪雨災害シンポジウム(宇治市主催)への参加と京都府南部地域豪雨災害時の災害ボランティアセンター活動紹介パネルの展示によるPR。
参加者	運営委員6名
実施して	被災された世帯や人に対して、日頃からやり取りをしている多くの関係団体やボランティアの力があつたからこそ、災害ボランティアセンターとしての支援ができたことをPRすることができました。

### (京都府南部地域豪雨災害から10年に向けてのメッセージ)

日時	令和4年8月14日(日)／社協だより9月15日号
内容	10年前の京都府南部地域豪雨災害時の災害ボランティアセンターのふり返りとこれからの当センター運営への思いの発信
実施して	当時に関わっていた人たち、また当時を知らない人たちや住民に対して、今後も「災害に強いまちづくり」に向けて、当センターとして取り組んでいくという姿勢をPRすることができました。

### (宇治市防災訓練への参加)

日時	令和4年10月23日(日)9:00~12:00
場所	木幡中学校 グラウンド
参加者	運営委員5名、事務局1名
内容	宇治市災害ボランティアセンター啓発ブースの展開 ・PRリーフレットの配布 ・京都府南部地域豪雨災害時のパネル展示
実施して	会場が京都府南部地域豪雨災害の被災地から近かったこともあり、展示ブースに訪れた方の中には、当時の被災の様子を語られる方も多くありました。今後も、当センターを広く市民にPRできる機会として参画します。

(災害廃棄物に関する座学・ワークショップへの参加)

協働先	宇治市まち美化推進課・危機管理課
日時	①令和4年 9月17日(土) 14:00~16:00 ②令和4年10月29日(土) 9:00~12:00 ③令和5年 1月22日(日) 10:00~12:00
場所	槇島集会所及び槇島公園
参加者	①運営委員1名 ②運営委員4名・事務局1名 ③運営委員4名
内容	①~③宇治市による災害廃棄物処理に関するワークショップ ②は同日に災害廃棄物処理住民啓発モデル事業 模擬訓練
参加して	災害時に出る各家庭からの廃棄物の問題について、当センターやボランティア活動がどういった面で関われるかについて学ぶ機会となりました。模擬訓練では、家が浸水したという想定のもと、高齢者宅の2階からタンスを屋外の回収拠点まで運び出しました。高齢者や障がい者世帯など含め、廃棄物処理がスムーズに進むことが被災住民の大きな手助けになることを実感できました。

(府営西大久保団地自主防災会との連携)

協働先	府営西大久保団地 自主防災会
日時	①令和4年 9月11日(日) 10:00~12:00 ②令和4年10月23日(日) 10:00~12:00 ③令和4年11月20日(日) 10:00~12:00
場所	①、③平盛小学校体育館・周辺 ②南宇治中学校 柔剣場
参加者	①事務局2名 ②都合により参加なし ③事務局1名
内容	①防災フェスティバル ②防災講演会 ③避難所設置訓練
参加して	佛教大学の後藤至功先生にアドバイザーとして関わっていただく調整を行いながら、当センターとして自主防災会との連携を図りました。防災フェスティバルでは、起震車体験、防災グッズや南宇治中学校生徒の災害に関するアンケート結果の展示、一部、バザーや模擬店など、住民が気軽に防災を学べる機会となっていました。避難所設置訓練では、実際に平盛小学校の体育館にて、住民の避難想定のもと、避難所のレイアウト、準備物、要配慮者への対応について模擬訓練を行うことで、いざという時の動きを確認することができました。

(シンポジウム「京都府南部地域豪雨災害からの10年 ~その当時を振り返って~」)

協働先	災害時連携 NPO 等ネットワーク
日時	令和4年10月16日(日) 13:30~16:30
場所	宇治市産業振興センター
参加者	運営委員4名 うち1名は登壇者
内容	京都府南部地域豪雨災害を振り返ってのパネルディスカッション
参加して	登壇者として、当センター運営委員の吉田秀子氏がパネラーとして参加されました。当時の水害にて、復旧に尽力した福祉・企業・行政からの登壇者が、当時の被災状況や復旧活動の様子を語り、日ごろの備えや水害発生時における対策を学ぶ機会となりました。

### (3) 京都府災害ボランティアセンターへの協力

#### 【京都府災害ボランティアセンターへの運営委員としての参画】

日時	場所	内容
令和4年 7月13日(水) 15:00~16:30	ハートピア京都	第1回運営委員会
令和4年 8月 2日(火) 13:30~15:00	ハートピア京都	第1回訓練研修部会
令和4年 8月31日(水) 17:00~18:30	ハートピア京都	第2回訓練研修部会
令和4年 9月28日(水) 10:00~11:30	ハートピア京都	第2回運営委員会
令和4年12月 5日(月) 17:00~19:00	ハートピア京都	第3回訓練研修部会
令和4年12月15日(木) 15:00~16:00	ハートピア京都	第3回運営委員会
令和5年 1月17日(火) 10:00~16:30	京都学・歴彩館	初動支援フォローアップ研修
令和5年 2月 6日(月) 14:00~16:00	ハートピア京都	第4回訓練研修部会
令和5年 2月13日(月) ※助成金文書審議	—	第4回運営委員会
令和5年 3月22日(月) 16:00~17:30	ハートピア京都	第5回運営委員会

#### 【京都府災害ボランティアセンター総会】

日時	場所	出席者
令和4年5月29日(日) 10:00~11:30	ハートピア京都	運営委員1名

#### 【京都府災害ボランティアセンター研修会への参加】

日時	場所	内容/参加者
令和4年 6月15日(水) 13:00~16:30	文化パーク状況	市町村ブロック別研修会 (南部エリア) 3名
令和4年10月15日(土) 13:00~15:30	京都テルサ/オンライン	全体研修会/参加者3名

## 6. 当事者団体の支援を通じての地域生活支援

**赤い羽根** **補助委託**

目 標/当事者団体による情報発信が、より広く市民に伝わるよう広報します。

多様な住民に当事者の思いを伝えることができる場づくりを支援します。

取組み/共同募金委員会や市の助成金等を媒介にした当事者団体の運営相談支援

宇治市介護者家族の会と連携した在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施

### (1) 当事者団体への支援

助成金などの財政支援として、宇治市共同募金委員会が実施する「赤い羽根コラボ助成(第3章記載)」と連携して支援を行いました。宇治市からの補助による「宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業(第2章記載)」や当事者の声を活かした介護者リフレッシュ事業を始めとする取組みを実施しました。また、新たな団体を立ち上げたいという相談が寄せられることがありました。

相談・調整を通じた支援としては、例えば、毎月、アルコール依存症の人の家族会から届くお便りを福祉会館内にて広報したり、地域団体の会合等で紹介するなどしました。また、「青年の社会参加を応援する会実のり」には、活動場所(第2章16項参照)などの提供を行っています。当会には、様々な当事者から多様な相談が寄せられます。相談者の声を聞き、当事者団体を紹介したり、必要な情報を届け、相談者の孤立を防ぐ役割があります。今後も、その役割を十分発揮できるよう努めます。

## (2) 在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施

在宅高齢者介護者リフレッシュ事業は、市内の要支援や要介護認定を受けている高齢者を在宅で介護する人たちの心身のリフレッシュと、介護者同士の相互交流を目的に年6回企画・開催しました。感染症の影響などによる中止もなく、いずれの企画も開催をすることができました。

いずれの企画も、宇治市介護者（家族）の会の参画のもと実施しました。交流の時間等での進行をはじめ、企画段階から様々なご協力をいただきました。

市政だより等への掲載、チラシでの案内、公共施設での配架などの方法で周知を図りました。また、福祉サービス関係事業者等を通じての介護者への情報発信に加え、過去の参加者にもダイレクトメールで案内をしました。

コロナ禍の影響が長引くなか、総じて参加者は決して多いとは言えませんでした。少人数開催となったことがかえって、参加者同士、顔見知りになる機会になった人もありました。企画終了後にも電話で連絡を取り合ったり、相手の介護状態を不安視され、当会や宇治市介護者（家族）の会の世話人に相談をされる人もあったりと、緩やかながら当事者同士のつながりを感じるお話もありました。

この取組みがきっかけとなり、宇治市介護者（家族）の会に入会し、この企画の協力者の立場になられた参加者もありました。

### (宇治市在宅高齢者介護者リフレッシュ事業)

企画種別	回数	開催日	内容	定員	参加者数
交流企画	第1回	5月24日 (火)	宇治市植物公園で園長と共に植物鑑賞、寄せ植え体験と交流	40	9
	第2回※	8月21日 (日)	宇治市総合福祉会館で苔玉づくりワークショップと交流(※同日2回開催)	40	午前14 午後6
	第3回	12月12日 (月)	茶づなでの茶の実オイルを使ったハンドバームづくり、ハンドマッサージと参加者同士の交流	30	17
レクリエーション企画	第1回	10月4日 (火)	信楽陶苑たぬき村で陶芸(絵付)体験→滋賀県立陶芸の森での交流	20	7
	第2回	11月16日 (水)	道の駅アグリパーク竜王での食事や買い物、柿狩り体験と交流	20	18
	第3回	2月21日 (火)	道の駅レスティ唐古・鍵での食事や買い物→三宅町交流まちづくりセンター MiiMoでの珈琲の淹れ方講座と交流	20	6
				170	77



交流会(苔玉づくりワークショップ)  
制作後には互いの作品を鑑賞し合いながら、話に花が咲いていました。



レクリエーション企画(柿狩り体験)  
柿狩りはそこそこに、互いの介護の様子など、お話し合いが深まりました。

## 7. 生活支援体制整備事業を通じての対話と協働による地域福祉の推進

目 標／地域福祉課題の発掘と解決に向けた学び合いの場を創ります。

取組み／宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第1層）の運営

小地域を基盤とした宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第2層）の拡充

平成29年度より宇治市から、宇治市生活支援体制整備事業を受託しています。地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、生活支援コーディネーター（以下、SC）業務ならびに協議体の設置をすすめています。第1層協議体戦略会議、生活支援体制整備事業事務局会議において、宇治市、宇治市福祉サービス公社（以下、公社）と共に情報共有と協議を行いながらすすめています。

令和3年度に引き続き、当会にはSCを3名（第1層1名、1層及び2層兼務で2名）配置し、宇治市福祉サービス公社にも3名が配置されました。第2層の担当圏域は、当会のSCが6圏域、公社のSCが2圏域（中宇治・西宇治）を担当しています。

令和4年度は「生きがい、社会参加」を全体テーマとして事業を進めました。合わせて、宇治市長寿生きがい課による『生きがい探しのすすめ』の発行への情報提供・協力を行いました。

第1層協議体においては、多世代交流の中で、役割が自然と生まれ、その人自身の力が発揮され、生きがいにつながる事がわかりました。「生きがい」は、相互関係の中で発揮をされることもわかり、ひとりひとりが日々、「やりがい、生きがい」をもち、地域で活かしていくことがお互いに支え合うことにつながることもわかりました。また、地域のつながりづくりは、時間がかかるものなので積み重ねていくことの大切さのお話しもありました。

第2層の地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）は、大きな一歩となった一年でした。長寿生きがい課だけでなく、交通政策課とも連携を行い地域づくりを考えました。宇治徳洲会病院のシャトルバスや、UR都市機構との連携において、地域住民の思いを実現することができ、地域にある、支援団体、商店との連携。また、地域包括支援センターとの連携は、地域にとってとても大きな力になりました。

SCは、地域の声をひとつひとつ大切に、地域にある資源や関係機関との連携を図っていく認識と役割を高めていく必要があります。

## （事務局会議）

日 時	①令和4年 4月26日（火）9:30～11:30 ②令和4年 6月17日（金）9:30～11:30 ③令和4年 8月 4日（木）9:30～11:30 ④令和4年10月 4日（火）9:30～11:30	⑤令和4年11月 1日（火）9:30～11:30 ⑥令和5年 1月 5日（木）9:30～11:30 ⑦令和5年 3月23日（木）9:30～11:30
場 所	宇治市総合福祉会館	
参加者	SC6名（公社3名、当会3名） 宇治市3名	
目 的	生活支援体制整備事業委託業務及び協議体運営にかかわる事項の協議	
実施して	年度当初に生活支援体制整備事業の一年間の計画を立て、SCより各事業の実施報告、情報共有を行いました。この事務局会議を通じて、生活支援体制整備事業の遂行とそれぞれの業務分担の内容理解に努めました。	

(戦略会議)

日 時	①令和4年 5月23日(月)9:30~11:30 ②令和4年 9月13日(火)9:00~12:00	③令和4年11月15日(火)9:30~11:00 ④令和5年 1月26日(木)9:30~12:00
場 所	宇治市総合福祉会館	
参加者	①②④初田座長・山本副座長・SC5名(公社2名、当会3名)・宇治市3名 ③初田座長・山本副座長・SC5名(公社2名、当会3名)、宇治市3名 母子草2名・生活応援隊2名	
目 的	「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」(第1層協議体)についての協議	
実施して	令和4年度の「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」(第1層協議体)の内容について協議を行いました。今年度は、「生活支援活動の連携」についての提案が座長よりあり2団体の活動状況を共有しました。令和5年度へ向けて部会制検討を行います。	

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層協議体)1回目)

日 時	令和4年7月22日(金)14:00~16:00	
場 所	宇治市総合福祉会館 3階 大広間	
参加者	構成員23名、オブザーバー2名、地域福祉課1名、市民協働課1名 長寿生きがい課4名、公社 SC2名、当会 SC3名	
目 的	多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進する場とし、市全域における支え合いの仕組みづくりについての検討	
内 容	○生活支援体制整備事業の進捗状況の報告 ○「おぐらばんごはん会」の活動報告と質疑応答 ○グループワーク テーマ「生きがい、社会参画」 「今やっている活動を通して、喜び、生きがいを教えてください」 ・グループ発表	
実施して	多世代交流の中で役割が自然と生まれ、その人自身の力が発揮され、生きがいにつながる事がわかりました。「生きがい」は、相互関係の中で発揮をされることもわかり、ひとりひとりが日々、「やりがい、生きがい」をもち、地域で活かしていくことがお互いに支え合うことにつながる事がわかりました。	



第1層協議体(第1回目)の様子

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層協議体)2回目)

日 時	令和5年3月10日(金)14:00~16:00
場 所	宇治市総合福祉会館3階 大広間
参加者	構成員31名、市民協働推進課1名、長寿生きがい課6名、公社 SC1名、当会 SC3名
目 的	多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進する場とし、市全域における支え合いの仕組みづくりについて検討します。
内 容	<p>生活支援体制整備事業の進捗状況の報告 生活支援コーディネーターより活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿サポーター養成講座について</li> <li>・第2層協議体の活動について</li> </ul> <p>○映像による実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・UR 都市機構グリーントウン榎島内の「グリーンカフェ」 報告:『北榎 ODEN』</li> <li>・榎島町紫ヶ丘での「宇治徳洲会病院のシャトルバスでお買い物へ」 報告:『やまびこ~紫ヶ丘を住みやすくする会』</li> <li>・生活支援支え合い活動 報告:①『サポートセンターきんと雲』②『母子草』③『若葉台自治会たすけあい委員会』</li> </ul> <p>○報告内容についての参加者意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や気づきなどについて</li> </ul> <p>○宇治市より来年度に向けて</p>
実施して	<p>地域の中でひとりひとりの役割があり、その人らしい力が発揮されていることがわかりました。「自分の役割」があることで「生きがい」を感じておられます。「生きがい、社会参画」のある地域づくりには、その人の持っている力を発揮する場が必要です。年齢関係なく誰もが参加できる「場」づくりや、その人自身の力が発揮できる仕組みなどを住民の皆さんと考え、ひとりひとりの出番が増えることが生き活きと暮らせる健康へとつながることがわかりました。自分の健康や元気が、「人のため」になり、「社会貢献」にもなり、お互い様で助け合うことで地域がつながっていき、この地域に住んでいて良かったと思えるのではないかという気づきとなりました。</p>



第1層協議体(第2回目)の様子

【宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）（第2層協議体）の取組み】

（やまびこ～紫ヶ丘を住みやすくする会～）

日 時	①令和4年4月20日（水）14:00～15:30 ②令和4年5月27日（金）10:00～11:30 ③令和4年6月22日（水）14:00～15:30 ④令和4年7月25日（月）14:00～15:30 ⑤令和4年8月24日（水）14:00～15:30 ⑥令和4年9月22日（木）14:00～15:30	⑦令和4年10月28日（金）14:00～15:30 ⑧令和4年11月28日（月）14:00～15:30 ⑨令和4年12月14日（水）14:00～15:30 ⑩令和5年1月18日（水）14:00～15:30 ⑪令和5年2月22日（水）14:00～15:30 ⑫令和5年3月22日（水）14:00～15:30
場 所	紫ヶ丘集会所	
目 的	紫ヶ丘地域の困りごとなどを話し合う機会をもち、住民自治による福祉活動への機運を高める	
参加者	紫ヶ丘地域の住民、榎島地域包括支援センター1名、交通政策課1名、・長寿生きがい課2名、 当会 SC2 名	
内 容	地域の移動問題について住民や宇治市交通政策課と共に話し合い、買い物先までの移動に、宇治徳洲会病院のシャトルバスを利用できることが実現しました。ひきこもり当事者の家族会や社会貢献を掲げている畳店との協働もあり素敵なパステーションができあがりました。行政、地域資源がつながり、地域住民の思いがかたちになった一年でした。	
実施して	自分たちの地域を自分たちで良くしていこうという機運が高まり、自主的な意見や行動が増えています。買物もシャトルバスが利用できるようになり便利になりました。地域にある支援団体も住民の皆さんに知ってもらおう機会となりました。地域がつながるきっかけの「場」となっています。	



買い物先へのシャトルバスの利用  
（やまびこ）

(北楨 ODEN)

日 時	①令和4年 4月15日(金)14:00~16:00 ②令和4年 5月20日(金)14:00~16:00 ③令和4年 6月17日(金)14:00~16:00 ④令和4年 7月 8日(金)10:00~12:00 ⑤令和4年 9月 9日(金)10:00~12:00 ⑥令和4年10月14日(金)10:00~12:00	⑦令和4年11月 7日(月)10:00~12:00 ⑧令和4年12月19日(月)10:00~12:00 ⑨令和5年 1月16日(月)15:00~16:30 ⑩令和5年 2月20日(月)15:00~16:30 ⑪令和5年 3月20日(月)15:00~16:30
場 所	グリーントウン楨島9棟集会所	
参加者	グリーントウン楨島地域の住民、都市再生機構(UR)3名、(株)花駒1名、京都文教大学2名、楨島地域包括支援センター1名、グループホーム1名、デイサービス1名、長寿生きがい課2名、当会 SC2名	
目 的	グリーントウン楨島地域で、地域の困りごとなどを話し合う機会をもち、住民自治による福祉活動への機運を高める	
内 容	地域のつながりの大切さや住民の思いを大切にするために、グリーンカフェを12月12日からスタートさせ、月に1回開催。今年度は、準備の為に話し合いを重ねてきました。『グリーンカフェ』はつながる場でもあり、地域の声を聞かせてもらう場とし、聞こえて来た声を北楨 ODEN で話し合うきっかけにしています。	
グリーン カフェ	令和4年12月12日(月)10:00~15:00 (※プレオープン)	①令和5年1月16日(月)13:00~15:00 ②令和5年2月20日(月)13:00~15:00 ③令和5年3月20日(月)13:00~15:00
実施して	話し合いが始まり、1年。会議を重ねるごとに地域の課題に向けて解決へと進んでいます。URの協力をはじめ、行政、近隣大学、関係機関の多様な職種が集まり、住民と共に大きな力となっています。グリーンカフェでは、地域の人どうしだけでなく、専門機関にもつながり課題解決の場にもなっています。	

(北畠ラルゴ木幡) (北畠懇談会(仮称)全体会ミーティング)

日 時	①令和4年4月22日(金)10:00~12:00 ②令和4年5月27日(金)14:00~15:30 ③令和4年7月 1日(金)10:00~12:00 ④令和4年8月31日(水)10:00~11:30 ⑤令和4年9月30日(金)10:00~11:30	⑥令和4年10月28日(金)10:00~11:30 ⑦令和4年11月17日(木)14:00~15:30 令和5年 1月27日(金)積雪の為中止 ⑧令和5年 2月28日(火)10:00~11:30 ⑨令和5年 3月30日(木)10:00~11:30
場 所	木幡北畠集会所	
目 的	木幡北畠地域で、地域の困りごとなどを話し合う機会をもち、住民自治による福祉活動への機運を高める	
参加者	北畠地域の住民、東宇治北地域包括支援センター3名、長寿生きがい課2名、社協1名 当会 SC2名	
内 容	地域は、様々な人たちで構成をされている。精神障害者や認知症の人への関わりかたに関心があり、原点に戻り、認知症のことや「こころの病気を知る」勉強会を通じて、精神障害者の病気についてなど地域の方々や学ぶ機会を増やしていきました。	
実施して	地域の皆さんと考える機会を増やした一年でした。原点にもどり地域のことを地域の人と共に考えています。	



グリーンカフェでのご近所  
交流(北楨 ODEN)



北畠地域での懇談会  
(北畠ラルゴ木幡)

(パワーアップこわた)

日 時	①令和4年 4月21日(木) 14:30~16:00 ②令和4年 5月24日(水) 14:30~16:20 ③令和4年 6月23日(木) 14:30~16:30 ④令和4年 8月23日(火) 15:00~17:00 ⑤令和4年 9月14日(水) 10:00~11:30 (株)アグティとの協議 ⑥令和4年10月14日(金) 15:00~17:00	⑦令和4年11月10日(木) 14:30~16:00 (株)ダイハツとの協議 ⑧令和4年12月21日(水) 9:00~18:30 豊明市視察 ⑨令和5年 1月24日(火) 15:00~16:30 ⑩令和5年 2月14日(火) 15:00~16:30 ⑪令和5年 3月14日(火) 15:00~16:30
場 所	①~③ハーモニーやまはた⑤久御山町社協 ⑥総合福祉会館 ④⑦~⑪宇治市 ⑧豊明市	
参加者	木幡区 黒川氏、長寿生きがい課 3名、社協 SC 2名	
目 的	木幡区を中心に地域の困りごとなどを話し合い、住民自治による福祉活動への機運を高める。	
内 容	移動支援を軸に地域の困りごとを話し合う仕組みづくりを模索しています。8月までは「パワーアップこわた」で木幡での取組みを検討していましたが、9月からは、宇治市全体の取組みとして、企業との協議を行い検討してきました。様々な可能性を検討しながら幅広く考えてきましたが、1月になり最初に考えていた木幡での取組みとし総合事業を組み込んだ仕組みづくりを地域の住民と共に検討しています。	
実施して	社会福祉法人との協働、企業との共同等、様々な可能性を考え進めてきましたが、原点に立ち返り、地元、木幡で住民と地域住民の為の取組みを検討していく大切さを感じた一年でした。	

(府営西大久保団地)

実施日	令和5年 3月9日(木) 14:00~16:00
場 所	府営西大久保団地 第1集会所
目 的	府営西大久保団地にお住まいの方から、「府営団地の中に、住民の身近な居場所をつくりたい」という思いがあり、SC と意見交換しながら進めたいとの相談を受け、住民同士の交流を通じて、地域の中での「お互いさま」が生まれる場の推進
参加者	府営西大久保団地地域の住民6名、SC1名
内 容	府営西大久保団地の利用促進のため、一部、住居以外での居室利用が可能となることを受け、住民が気軽に交流できる新たな拠点づくりができないかという住民からの相談を受け、意見交換を行いました。
実施して	団地に昔から住んでいる人や最近、引越しをされてきた人、これまでは仕事でご近所との関りがなかった人など、様々な人が集まって暮らしている団地という環境において、改めて、住民同士がつながれる拠点づくりが必要だということが参加者同士で共有されました。その拠点づくりの具体化に向け、今後も協議の場へ継続的に参加します。

(小地域ケア会議への参加)

圏域	日時	場所	参加者
榎島	令和4年 6月27日(月) 14:00~16:00	紫ヶ丘集会所	1名
南宇治	令和4年10月25日(火) 14:00~16:00	リエゾン宇治大久保	1名
東宇治北(プレ)	令和4年10月26日(水) 14:30~15:30	ハーモニーこはた	1名
北宇治	令和4年11月18日(木) 14:00~16:00	小倉明星園	1名
南部三室戸	令和4年11月29日(火) 14:00~16:00	オンライン	1名
東宇治北	令和4年12月17日(土) 14:00~16:00	ハーモニーこはた	1名
東宇治北	令和5年 1月17日(火) 11:00~12:20 ケア会議の振り返り	ハーモニーこはた	1名
参加して	生活支援コーディネーターが地域に出て、地域住民、関係機関と直接話すことの大切さを改めて感じました。		

(自立支援型ケア会議への参加)

圏域	日時	場所	参加者
東宇治北・榎島	令和4年 5月18日(水) 14:00~16:30	宇治市役所	1名
南部三室戸・南宇治	令和4年 6月29日(水) 14:00~16:00	うじ安心館	1名
北宇治・東宇治南	令和4年 7月20日(水) 14:00~16:00	うじ安心館	1名
南宇治・榎島	令和4年 9月21日(水) 14:00~16:00	宇治市総合福祉会館	1名
東宇治北・南部三室戸	令和4年10月12日(水) 14:00~16:00	うじ安心館	1名
東宇治南・北宇治	令和4年11月 9日(水) 14:00~16:00	うじ安心館	1名
東宇治北・榎島	令和5年 1月11日(水) 14:00~16:00	うじ安心館	1名
南宇治・南部三室戸	令和5年 2月8日(水) 14:00~16:00	うじ安心館	1名
東宇治南・北宇治	令和5年 3月8日(水) 14:00~16:00	うじ安心館	1名
参加して	自立支援型ケア会議に参加し、専門職の多様な視点でのケース検討の場に参加SCとして地域活動を支える視点からの意見を伝えました。		

(「気かけ合う地域づくり」勉強会の実施)

講演先	日時	場所
東宇治南 脳活性化教室「あつまれ元気の森」	①令和4年8月23日(火) 10:00~11:30 ②令和4年9月22日(木) 14:00~15:30	東宇治南地域福祉センター
榎島 脳活性化教室「まきしま元気クラブ」	①令和4年12月20日(火) 10:00~11:30 ②令和4年12月28日(水) 10:00~11:30	①榎島コミュニティセンター ②さわらび園
東宇治南 脳活性化教室「あつまれ元気の森」	③令和5年 2月 9日(木) 14:00~15:30 ④令和5年 2月28日(火) 10:00~11:30	東宇治南地域福祉センター
実施して	地域づくりに関するクイズや、「生きがい、やりがい」をテーマにお話ししました。宇治市内での活動事例を参加者の皆さんにお伝えし、ひとりひとりの「生きがい、やりがい」が相互関係にあることへの気付きとなりました。	

### (研修会への参加)

日程	研修名	場所	参加者
令和4年6月8日(水)	SC カフェ	オンライン	1名
令和4年7月7日(木)	令和4年度山城北圏域生活支援コーディネーター交流会	宇治総合庁舎	1名
令和4年7月30日(土)	地域のみまもり研修会	久御山町役場	2名
令和4年9月1日(木)	いきがい・助け合いサミット in 東京 1日目	オンライン	1名
令和4年9月2日(金)	いきがい・助け合いサミット in 東京 2日目	オンライン	1名
令和4年9月12日(月)	久御山町社協地域福祉部職員研修②	久御山町地域福祉センター	2名
令和4年12月15日(木)	孤立を防ぐ「地域づくり」人材研修 ～就労支援と地域支援～	オンライン	1名
令和4年12月20日(火)	孤立を防ぐ「地域づくり」人材研修 ～生活支援体制整備事業から多世代交流へ～	オンライン	1名
令和5年1月17日(火)	孤立を防ぐ「地域づくり」人材研修 ～全世代の活躍支援～	オンライン	1名
令和5年1月19日(木)	生活支援体制整備推進のための情報交換会 ※報告者として参加	オンライン	1名
令和5年1月20日(金)	孤立を防ぐ「地域づくり」人材研修 ～若い世代のつながりづくり～	オンライン	1名
令和5年2月10日(金)	孤立を防ぐ「地域づくり」人材研修 ～就労支援と地域支援～	オンライン	1名

そのほか、近隣の社会福祉協議会のSCの意見交換等に参加しました。

## 8. 地域つながり活動支援事業への取組み

目 標／ウィズコロナにより、人と人との関わり方が変化する中で、ポストコロナを見据えた、多様な地域課題への取組みを通じて、地域共生社会の実現に努めます。

取組み／多様な人の参画を通じた、地域福祉の担い手づくり

ポストコロナを見据えた、地域課題の解決に寄与する事業への助成

平成30年度に引き続く5年目の事業として、宇治市の補助を受け、「宇治市福祉未来基金 地域共生社会推進事業(地域共生パイロット事業と公募型地域福祉活動支援事業)」を推進し、福祉課題解決の一助としました。

このうち、「公募型地域福祉活動支援助成金」については、名称を「地域つながり活動支援事業」に変更し、①子どもの貧困、②ひきこもり、③地域福祉活動の担い手確保を対象(分類)とする事業に対し、助成金を交付しました。居場所を求める点で共通しており、そのなかで他者に思いを寄せる活動が求められていました。

また、令和3年度より、宇治ボランティア活動センターの協力のもと、大学生からのボランティア相談をきっかけに、大学生が自由に集まり、おしゃべりしたり、共にボランティア活動をしたり、自分たちでやりたいことを考えながら、地域に大学生の力を生かしていける場づくりを継続しています。

令和4年度は、宇治市連合母子会の夏休みの最後の取組みの日に夏の思い出づくりとして、工作、ゲーム、かき氷を自分たちで企画しました。ボランティア活動の楽しさも体験し、これからの活動に活かしていきます。

(1) 宇治市福祉未来基金 地域共生社会推進事業「地域つながり活動支援事業」

(交付実績)

団体名	事業名称	申請内容	交付額(円)
一般社団法人 宇治市連合母子会	ほっこりアフタヌーンティー	お菓子・軽食を食べながら交流	100,000
青年の社会参加を 応援する会 実のり	「仕事」でつながる仲間づくり	パッケージの包装作業、障子の張替え 作業、名刺作成、冊子の作成	68,000
Kinarico	人形劇鑑賞	人形劇団たくたく堂さんによる人形劇 鑑賞、工作	100,000
特定非営利活動法人 こころのはな	とけこみ居場所	将棋、アロマ、マンダラ、版画教室など	100,000
宇治地域福祉研究所 学校 de カフェ	学校 de カフェ「しゃべり場」 (学習会・パネルディスカッション・相談)	学校 de カフェ講演、サポーター勉強会	49,000
講演会実行委員会	2022年度講演会「医療的ケア 児者の未来のために」	講演会を契機とした、医療的ケアにつ いての理解促進	100,000

(合計 517,000 円)

(2) 大学生のおしゃべりの場「yooSely\_rabbits(ゆーずりーらびっと)」の開催

日 時	①令和4年4月22日(金)18:00~20:00 ②令和4年5月18日(水)18:00~20:00 ③令和4年5月20日(金)18:00~20:00 ④令和4年6月15日(水)18:00~20:00 ⑤令和4年6月24日(金)18:00~20:00 ⑥令和4年6月28日(火)16:00~18:30 (ひろのこども食堂へボランティア参加) ⑦令和4年7月14日(木)18:00~20:00 ⑧令和4年8月18日(木)16:00~18:00 (宇治市連合母子会での夏イベントの実施)	⑨令和4年 8月27日(土)13:00~17:30 ⑩令和4年 9月 8日(木)16:00~18:00 ⑪令和4年10月18日(火)18:00~20:00 ⑫令和4年11月29日(火)18:00~20:00 ⑬令和4年12月 8日(木)13:30~16:00 (デイサービスくりくまでのお手伝い) ⑭令和5年 1月11日(水)18:00~20:00 ⑮令和5年 2月17日(金)18:00~20:00 ⑯令和5年 3月17日(金)18:00~20:00
場 所	理容アズマ跡コミュニティスペース/総合福祉会館	
目 的	大学生が自由に集い、おしゃべりできる場をつくり、大学生同士のつながりづくりや、大学生の力を生かしたボランティア活動や地域福祉活動について考える場とする。	
参加者	当会にボランティア相談を受けた大学生や取組みに関心をもった大学生(6名)、当会実習生、宇治ボランティア活動センター	
内 容	・大学生生活やボランティア活動などの情報共有 ・自分たちにできるボランティア活動や今後取り組みたいことについての話し合い ・ボランティア活動やお手伝いへの参加、他団体の協力によるイベントの企画運営	
実施して	宇治ボランティア活動センターの協力のもと、大学生がおしゃべりできる場所と時間の設定を行っています。人とつながる機会を望んでいる学生や自分にできるボランティア活動をやってみたいという学生など、それぞれ違う大学の学生が参加しています。おしゃべりの内容や何をしたいかは参加した大学生が主体的に決めます。令和4年度は、他団体の協力により、ボランティア活動への参加や、イベントの企画運営をすることができました。当会として、今後も、大学生が主体的に考え、行動につなげていけるようサポートを行います。	

## 9. 住民参加型による介護予防普及啓発事業の展開と地域づくり

目 標／誰もが健康寿命を伸ばし、地域で孤立せず暮らしていけるよう、健康づくりを介しての住民参加の拡充を図ります。

取組み／週1回、20小学校区での一般介護予防事業介護予防普及啓発事業（Bタイプリハビリ教室）の実施

健康づくりに関するボランティア研修会の実施

一般介護予防事業介護予防普及啓発事業（地域参加型 B タイプリハビリ教室）を地域住民とともに運営し、高齢者を中心にした地域住民の社会参加の機会の創出を行っています。令和2年度程ではないものの、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの波に影響を受け、1ヶ月単位で開催を見送る教室もいくつか見られました。他方、継続的に開催する教室も増えてきたことから、全体としては開催回数はコロナ禍前に回復してきました。教室ごとに感染症に対する受け止め方への違いがあることから、それぞれに個別に対応を迫られる場面が多い1年でした。

令和4年度の夏からは、猛暑の中、高齢者が教室まで歩いて通うことへの健康リスクに配慮し、熱中症警戒アラートが京都府に発表された際にも教室を休止する措置を取りました。担当職員は、利用者等の体調変化に気付けるよう、熱中症対策アドバイザー養成講座を受講しました。熱中症対策に関する呼びかけを各教室で展開できるような体制づくりにも努めました。

介護予防に関するボランティア講座は、認知機能と身体機能の両面を一緒に鍛えることができる『コグニサイズ』をテーマにした講座を西・東のエリアで各2回実施しました。連続性のある講座を展開し、地域住民への介護予防意識の浸透や、身近なところでの介護予防に関する啓発につながるきっかけを提供しました。多くの教室でコグニサイズの導入が見られ、学びやすく取り入れやすいメニューである手ごたえを感じることができました。



（ボランティア研修会の様子）

(介護予防普及啓発事業【地域参加型 B 型リハビリ】開催状況)

教室名	小学校区	実施回数 (回)	利用者 実人数(名)	利用者のべ 人数(名)	ボランティア 実人数(名)	ボランティア のべ人数(名)
ほっこりくらぶ	神明	42	8	132	20	657
さわやかくらぶ	御蔵山	41	9	211	6	263
すこやか広野	大久保	31	7	159	15	319
ニコニコ菟道	菟道	41	8	265	14	505
あったか平盛	平盛	40	13	375	10	326
のんびりくらぶ	西大久保	34	7	100	12	336
みむろど健康教室	三室戸	42	10	300	28	395
なごみ岡屋	岡屋	26	5	93	8	185
ホット大開	大開	42	8	183	10	271
元気おうばく	宇治	42	5	183	16	503
きらきら菟ニクラブ	菟道第二	43	5	128	43	554
ハスの実くらぶ	小倉	43	3	82	19	633
お茶の実クラブ	木幡	35	6	162	14	451
しらさぎクラブ	南小倉	41	9	199	9	249
ふれあい北槇	北槇島	44	11	243	11	428
槇島あすなろ会	槇島	43	9	227	7	250
ぬくもり伊勢田	伊勢田	40	7	219	15	336
南部てんとう虫教室	南部	43	11	352	14	470
スマイル西小倉	西小倉	39	8	178	11	362
フラワー北小倉	北小倉	40	4	130	8	273
合計		792	153	3,921	290	7,766

(宇治市内の介護予防普及啓発事業【地域参加型 B 型リハビリ教室】ののべ人数の推移)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数(回)	609	576	792
利用者のべ人数(名)	3,163	2,931	3,921
ボランティアのべ人数(名)	5,426	5,411	7,766

(ボランティア研修会 開催状況)

日時	①令和4年 9月29日(水) 10:00~11:30 ②令和4年 9月29日(水) 14:00~15:30 ③令和4年10月31日(月) 10:00~11:30	④令和4年10月31日(月) 14:00~15:30 ⑤令和4年12月14日(水) 10:00~11:30 ⑥令和5年 1月17日(火) 14:00~16:00
場所	①、②城南勤労者福祉会館③、④木幡公民館⑤、⑥宇治市総合福祉会館	
目的	体の健康と脳の活動を維持・増進することを目的に、コグニサイズを基調とした研修会を展開 地域での介護予防に資する自発的な活動の普及啓発と住民の活動の育成 広く市民に参加を促し、地域の福祉活動や介護予防教室を知るきっかけを提供	
参加者	①28名 ②29名 ③15名 ④13名 ⑤37名 ⑥37名	
内容	講師:株式会社 Bright Body(ブライトボディ) 富永 彩香 氏 ①~④脳トレしながら運動できる/コグニサイズでととのい上手 ⑤脳トレしながら運動できる/コグニサイズでととのい上手 ステップアップ編 ⑥改めて「歩く」を考える ※兼サロン研修会	

実施して	介護予防の取組みに携わるボランティアのスキルアップや自身の健康維持・向上が図れた内容であったと考えます。今回、福祉会館以外に西エリア・東エリアでも開催しました。近隣地域から多く参加があり参加しやすいと好評でした。研修内容を地域参加型B型リハビリ教室のプログラムや学区福祉委員会でのつどいで実施されるなど、地域での浸透につながりました。地域参加型B型リハビリ教室のプログラムでコグニサイズや筋トレ・ストレッチをすることで健康寿命を延ばすことにつながると考えています。また、これまでボランティア活動に参加されていない人たちにも介護予防の大切さと地域での取り組みを知っていただける機会となりました。参加者に地域参加型B型リハビリ教室の紹介ができたことにより、早々に教室を見学されて現在、教室のボランティアとして活躍される方もあります。
------	--

## 10. 若年層への福祉教育の実施

補助  
委託

目 標／京都文教大学の授業を通じて、ボランティア活動への参加のすそ野を広げます。

取組み／ボランティア活動団体や福祉施設との協働による京都文教大学ボランティア演習を通じた、大学生のボランティア活動の受入れ

京都文教大学の科目である「地域ボランティア演習」に関して業務提携を行い、学生のボランティア活動促進に努めました。「地域ボランティア演習」では、学校支援コース、自己開拓コース、社会福祉支援コースがあり、当会は社会福祉支援コースを担っています。

春学期、秋学期ともに市内各所の施設・団体等のご協力を得ながら実習受入の調整を行いました。実習後の学生からは、「ボランティアは誰かの役に立つものと思っていたが、自分にとっても得られるものになることがわかった」「近い将来の進路についても考えてみるきっかけになった」など、様々な変化が見られました。受入れ団体からも「利用者や施設の仲間の刺激になって良かった」など、今後も受入したいとの声がありました。

### (京都文教大学ボランティア演習の演習実施状況)

団体・施設名	春学期 (4月6日～7月27日)	秋学期 (9月21日～1月23日)
	受入れ人数	
特定非営利活動法人就労ネットうじみつくすはあつ	3	3
ワークセンター宇治作業所	2	2
特定非営利活動法人こころのはな	2	4
宇治市要約筆記サークル「エコー」	1	0
宇治ボランティア活動センター	0	2
宇治市社会福祉協議会 (学習支援)	5	4
〃 (Bタイプリハビリ)	2	3
合 計	15	18

## 11. 福祉関係者とともに宇治市の福祉の機運を高めるための宇治福祉のつどいの開催

目 標／福祉活動参加者への敬意を表し、また、地域福祉課題の提起を図ります。

取組み／長年、地域福祉やボランティア活動に貢献されてきた方の表彰

当会70周年を記念して、福祉関係者とともに、地域福祉課題の共有を図る講演会等の実施

令和3年度は表彰式典のみの実施でしたが、令和4年度は、表彰式典とパネルディスカッションの2部制で、令和4年11月2日（水）に令和4年宇治福祉のつどいを開催しました。地域福祉活動に長年ご尽力いただいた個人や団体に対して、市内の福祉関係者が集い、その功績を称える場となりました。

第2部では、当会の創立70周年を記念して、「未来へ続く宇治らしいつながり」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



表彰式典及びパネルディスカッションの様子

### (宇治福祉のつどい)

実施日	令和4年11月2日（水）10:00～12:00
実施場所	パルティール京都
参加者	会長表彰・感謝状贈呈者 表彰状受賞者50名、感謝状贈呈者 団体4件、個人1名 参加者168名（受賞者30名、来賓8名、一般102名、理事13名、評議員15名）
目的	福祉関係者が集い、地域福祉推進への決意を新たにするため
内容	<p>第1部【福祉功労者表彰・感謝状贈呈式典】</p> <p>第2部【創立70周年記念パネルディスカッション】「未来へ続く宇治らしいつながり」（パネラー）</p> <p>伊勢田学区福祉委員会 委員長 石田 繁子氏          社会福祉法人 イエス団 愛隣デイサービスセンター 職員 内山 慎吾氏          一般社団法人 宇治青年会議所 副理事長/          株式会社矢野豊商店 代表取締役 矢野 孝幸氏          （コーディネーター）          社会福祉法人 京都府社会福祉協議会 事務局長 武田 知記氏</p>
実施して	<p>日頃活動されている皆さんや当会への寄附者、自動販売機の設置協力者への感謝を表すことと、地域福祉推進への気持ちを新たにすることを大切にしています。</p> <p>第2部のパネルディスカッションでは、「未来へ続く宇治らしいつながり」というテーマで、それぞれの視点から、現在参加している活動やそこへの参加のきっかけなどについて、お話をいただきました。活動に参加するきっかけとして、「誘われて」という意見が多く、つながりや声かけの大切さを改めて感じました。また、今までのつながりで築いてきた活動を大切にしながら、これまで関わりのなかった人たちとの新たなつながりに目を向けることについて考える機会となりました。</p>

## 12. 福祉専門職や福祉事業に関わる人たち、社会福祉法人等との連携強化

目 標／社会福祉法人等と地域の課題や法人を取り巻く課題を共有し、解決策を探ります。

取組み／各種法人の課題を共有する対話の場づくりの検討

宇治市福祉サービス公社と取組んできたプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため合同勉強会を中止して以降、取組みには至っていません。

宇治市自立支援協議会医療的ケア部会を中心として、医療的ケア児者のことをもっと市民に知ってほしいという思いから講演会が企画され、当会も職員がかかわりました。助成金の調整のほか、申込み受付のサポートなどを行いました。医療的ケア児者の講演会の企画のみならず、企画段階で、福祉関係者が「夢」を語り、そしてその思いを形にしていく過程を見る中で、当会の関わる意義や社会福祉法人との連携強化など、課題も見えてきました。令和5年度以降もこの課題に向き合っていきます。

赤い 歳末 利用  
羽根 募金 負担

## 13. 他機関との連携による子育て世代への働きかけと地域福祉活動へのきっかけづくり

目 標／NPO 法人等と連携し当事者の視点を大切にされた子育て世代とのつながりづくりと子育てを通じて参画できる地域福祉活動の場づくりを進めます。

取組み／NPO 法人等と連携した子育て支援事業の展開

中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業

NPO 法人との連携による子育て中の親子の出会いの場、相談の場づくりとして、1歳になるまでの子どもを持つ親を対象とした、赤ちゃんサロン・広場・パークを開催しました。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症予防のため、個別マットを配布して参加者同士の距離を空けながらの開催としました。

### (1) 「赤ちゃんサロン・広場・パーク」の実施（「NPO 法人子育てを楽しむ会」と共催）

参加者の気持ちをほぐすプログラムの後、交流を促すフリートークの時間を設けるほか、小グループでのおしゃべりタイムを設け、参加者が自然と交流しやすくなるような工夫をしています。参加者からは、「月齢が近い者同士で集まれるので参加しやすい」「子どもと一緒にゆったり参加できる場所となっている」という声があります。赤ちゃんサロンの参加者数は横ばいであるものの、赤ちゃん広場、パークでは、令和2年度実績に近い数まで戻ってきています。

#### （赤ちゃんサロン・広場・パーク開催実績）

名 称	赤ちゃんサロン	赤ちゃん広場	赤ちゃんパーク
対 象 (市内在住に限る)	妊婦および1ヶ月から4ヶ月の赤ちゃんとお親	5ヶ月から8ヶ月の赤ちゃんとお親	9ヶ月から12ヶ月の赤ちゃんとお親
日 時	原則 毎月第4木曜日	原則 毎月第1金曜日	原則 毎月第3金曜日
	10:00～12:00		
実施場所／参加費	宇治市総合福祉会館／参加費 200 円		
実施回数	10回	10回	10回
参加状況	45組(90名)	88組(178名)	85組(171名)

※参加状況にはスタッフ、保育サポーター数は含まない

**(赤ちゃんサロン・広場・パーク参加者の推移)**

(単位:組)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
赤ちゃんサロン	47	42	45
赤ちゃん広場	88	49	88
赤ちゃんパーク	97	52	85
合計	232	143	218

**(2)「おしゃべりキャッチボール」の実施(「NPO 法人子育てを楽しむ会」へ委託)**

子育て中の同じ悩みを持った親同士の出会いの場、相談の場づくりとして、おしゃべりキャッチボールを実施しました。令和4年度は、「子育てや子の発達に不安を感じている保護者」「多胎児を育てる保護者」を対象に、助産師・保健師の協力を得て実施しました。赤ちゃんパークの卒業後の次の参加先となっていたり、当事者同士の交流を行うことで、情報の交換や悩みの共感などができ、参加者のリフレッシュの時間となっています。当会としても、子育てに悩みを持つ方の声が聴ける貴重な機会となっています。

参加者数が無かった回があることから、広報の表現を工夫することを検討します。

**(おしゃべりキャッチボール開催状況)**

テーマ	子育てや子の発達に不安を感じる保護者	多胎児の保護者	
対象	市民全般		
日時 10:00~ 11:30	① 6月9日(木) ② 7月7日(木) ③ 10月13日(木)	④ 11月10日(木) ⑤ 2月9日(木)	① 5月12日(木) ② 9月8日(木) ③ 12月8日(木) ④ 3月9日(木)
実施場所・参加費	宇治市総合福祉会館		
親子数 (参加者数)	①0組(0名) ②2組(5名) ③0組(0名) ④4組(10名) ⑤4組(8名)	①2組(4名) ②2組(5名) ③3組(8名) ④2組(6名)	

**(3) 子育てサークルなどへの情報提供および広報**

現在、子育てサークルへの参加調整は、宇治市子育て支援基幹センターが窓口となっているため、当会に連絡があった際には、子育て支援基幹センターへとつないでいます。子育てサロンの運営についての問い合わせや調整は、当会にて相談、調整を行っています。また、宇治市総合福祉会館に常設している子育て情報コーナーで市民向けの各種情報を提供しました。

宇治市発行の子育て情報誌では、子育てサークルや子育てに関する取り組みをされている団体の情報が掲載されるよう、各団体と連絡を取り、活動状況や記載内容の確認と調整を行っています。

**(4) 中学生と赤ちゃんの交流事業への協力**

中学校の主催により、乳児から2歳頃までの赤ちゃんと親が「赤ちゃんボランティア」として中学校を訪れ、中学3年生と交流をはかる事業です。これまで、当会では、ボランティア募集、連絡調整、当日のサポート、実施後のフォローを行ってきました。コロナ禍での開催について、各中学校の判断により令和4年度も開催見合わせとなりました。令和3年度に引き続き、私たちにできることとして、赤ちゃん交流事業に参加できなかった3年生に対して、NPO 法人子育てを楽しむ会の事業に参加されている方や子育て事業を行っているスタッフからの卒業を祝う一言メッセージを集めたお祝いボードを、赤ちゃん交流を予定していた中学校に贈呈しました。



南宇治中学校での贈呈の様子



宇治中学校での贈呈の様子

#### 14. 高齢者の健康と生きがいづくりを通じた老人福祉センターの運営

補助  
委託

目 標／高齢者の健康や生きがいづくりのための社会参加の機会を創出します。

取組み／宇治市老人センターサークル協議会(USK)事務局の運営

館外研修、クリーン運動等の実施、サークルの発表の場の提供

##### (老人福祉センターサークル数の推移)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サークル数	20	17	17
登録者数	384	331	285

##### (シルバーウエルネス舞台発表大会・展示発表大会開催の支援)

日 時	①舞台発表大会：令和4年9月30日(火)10:30～15:00 ②展示発表大会：令和4年10月8日(土)13:00～16:00 10月9日(日)9:30～15:00
場 所	①宇治市文化センター小ホール ②宇治市総合福祉会館
目 的	サークル発表及び作品の展示と交流
内 容	①合唱・カラオケ・民謡・謡曲・詩吟・三味線・大正琴・社交ダンスハーモニカ・ナツメロ ②華道・茶道・書道・陶芸・ちぎり絵

##### (当会活動への協力状況)

(単位：円)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団体会費	32,000	29,200	26,500
ふれあい基金	32,334	36,383	46,506
共同募金	61,000	55,200	53,000

USKでは、広く社会福祉へ貢献することを目的に、サークルの参加者から当会ふれあい基金等に寄付金、募金をいただきました。クリーン運動では、総合福祉会館前の掃除と館内清掃に取り組みました。また、歴史健康ウォークは、サークル会員の交流を目的に2回実施しました。昨年からは観光ボランティアガイドに依頼し、「承久の乱」「南泉房」等の知識を深めることができました。

(10月25日「宇治川先陣の碑と恵心院」・11月28日「もみじ狩り 源氏物語ミュージアム周辺」)

シルバーウエルネス大会・年度末発表大会では、コロナ感染予防対策や会場準備等を17サークルで協力して取り組むことができました。そのほか宇治ボランティア活動センター主催の清掃交流会にも、参加するなど他団体の交流も行いました。

## 15. 障がいのある人の社会参加の支援 補助 利用 委託 負担

目 標／障がい者の社会参加の機会を創出します。

取組み／身体障がい者デイサービス事業の実施

移動支援事業(車いすユーザー対象)の実施

### (1) 身体障がい者デイサービス事業の実施

身体に障がいのある方が、社会参加の場を得、多くの方と交流ができるよう、卓球バレー、手づくりなど、様々な教室を開催しています。利用者の身体機能の低下も見られる時がありますが、利用者同士の支え合いもある中で、安全面に配慮しながら運営しています。令和4年度は、感染症対策を講じた上で、すべての教室を実施しました。

#### (各教室の実施状況)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教室数	7	7	7
教室開催回数	90	79	118
登録人数(名)	37	36	37
のべ利用者数(名)	427	355	524

#### (各教室の開催状況)

教室名	年間開催数	登録利用者数	登録利用者内訳				延べ参加者数	1回当たりの参加人数	平均出席率
			肢体	視覚	聴覚	内部			
視覚裁縫	12	3	0	3	0	0	33	2.58	92%
卓球バレー	43	7	6	1	0	0	206	4.79	68%
書道	12	3	2	0	0	1	31	2.58	86%
コーラス	19	10	3	5	1	1	141	7.42	53%
手作り	10	4	1	2	1	0	31	3.10	78%
絵てがみ	11	2	2	0	0	0	11	1.00	50%
遊びでできるリハビリ	11	8	1	7	0	0	71	6.45	81%
合計	118	37	15	18	2	2	524	4.44	

### (2) 移動支援事業の実施

車イス利用者にガイドヘルパーを派遣し、外出のための支援を行いました。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止による規制や自粛により、必要最小限の支援の実施にとどまりました。令和4年度では規制や自粛が緩和され外出の機会が増えたのに反して、コロナ禍での体力低下や体調悪化が改善されない高齢の利用者について、外出支援は減少し、利用者も減少しました。

平成18年10月の開所以来、宇治市内の車椅子を利用されている方を対象にガイドヘルパーの派遣を行ない、多くの皆様に利用いただきましたが、近年の利用者の減少や当事業所の体制の変化により事業継続が困難になり、令和4年度末で閉所することになりました。

(移動支援事業の状況)カッコ内は男/女

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ヘルパー登録者数(名)	8(3/5)	6(2/4)	4(1/3)
利用登録者(名)	10(7/3)	11(8/3)	6(5/1)
派遣調整(件)	120	101	46
派遣実施数(件)	103	81	38

## 16. 福祉活動拠点の整備を生かした活動支援

宇治 利用  
社協 負担

目 標／福祉会館以外の活動拠点整備を通じ、地域福祉・ボランティア活動を推進します。  
取組み／理容アズマ跡コミュニティスペースの貸し出しを通じて、当事者支援活動・大学生の居場所・交流の場づくり等、多様性のある活動の拡充

### 新たな地域福祉活動拠点の整備、活用

令和2年度に丸紅基金社会福祉助成金の交付を受け、令和3年8月31日に改修を終え、「地域福祉活動拠点(福祉コミュニティスペース)」として運用しています。

原則、年末年始祝日を除く平日の9時から17時(夜間;要相談)を利用時間とし、会議、ワーキング、イベント、研修、情報発信、交流、相談などの貸室をはじめました。午前、午後、夜間の区分ごとに1回ワンコイン(500円)の利用料としています。延べ17回(通算44回)、3グループの利用がありました。当事者家族会の定例会議や相談、仕事の作業スペースのほか、大学生など若者の企画交流の場などにも役立てられています。



福祉コミュニティスペース内の様子

### 第3章 各種相談からの生活課題、地域福祉課題の把握と解決

来談者自らの意志や決断に寄り添い、制度や専門窓口、当会の強みである地域福祉活動やボランティア活動へのコーディネート力を生かした相談支援を展開します。

#### 1. ボランティア相談の実施

補助 宇治  
委託 社協

目 標／ボランティアの相談、調整を通じて、ボランティア活動参加者のすそ野を広げます。  
取組み／宇治ボランティア活動センターとの連携によるニーズ把握

新型コロナウイルス感染症の拡大以後、社会福祉施設でのボランティアの受入れが難しい状況にある中で、ボランティアの活動先としては、活動センター登録団体への調整やこども食堂、当会が実施している介護予防普及啓発事業へのマッチングを行いました。また、分野にこだわらず、まずは1度ボランティア活動をしてみたいという方には、宇治ボランティア活動センターの生活応援隊のサポーターとして活躍いただけるよう調整しました。他にも、各種ボランティア養成講座、ボランティアマッチングサロンなどの情報提供をしました。「何か活動をしてみたい」と希望する人の思いを逃さないことを意識してボランティアコーディネートに努めました。

#### (担当職員による月別ボランティア相談件数の推移)

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	28	41	30	9	41	15	20	17	19	2	5	8	235

※相談件数には、初回相談以降の対応件数を含む。(初回相談月にまとめてカウント)

#### (担当職員によるボランティア相談件数の推移)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	227	178	235

#### (相談者の属性(所属))

(単位:名)

個人(一般)	個人V登録者	Vセンター登録団体	学区福祉委員会	ふれあいサロン	ボランティアグループ	当事者団体
72	0	10	0	1	5	1

福祉施設	自治会・町内会	学校	福祉関係機関	行政	企業	その他	合計
5	1	4	12	1	4	5	121

## 2. ふれあい福祉センター相談事業の実施

目 標／生活課題や地域福祉課題の把握と解決のための寄り添いのある支援を行います。

取組み／福祉なんでも相談の実施

専門相談（社会保険、多重債務・成年後見、登記、法律）の実施

福祉なんでも相談において、相談者の課題解決に寄り添っています。また、専門相談の申し込みをきっかけに相談者の必要に応じて、他機関、ボランティア団体等につなぐ場合もあります。

相談は、1回の相談で終わらず複数日、連日にわたって対応していることもあります。知り得たニーズを個別だけの課題だけでなく、解決に向けて、生活支援コーディネーター、地域担当者、他職種等とも連携し、まちづくり、地域づくりへの取り組みのヒントとして生かすよう努めています。（例えば、生活困窮で食べるものに困っている、精神不安から自分の居場所を探しているなど）

法律相談では、相続についての相談が最も多く、次に、借地借家、相隣問題、金銭貸借の順になっています。相続登記義務化により相談が今後も増えることが予想されます。

福祉なんでも相談では、高齢者・障がい者相談が多く、生計、相続・財産、福祉サービスと続いています。高齢者相談では、遠距離介護の相談も多く寄せられました。

### （各相談の相談件数の推移）

（単位；件／日）

	福祉なんでも 相談	法律 相談	登記 相談	年金・社会 保険相談	多重債 務相談	成年後見 相談	合計	開設日
令和2年度	157	332	97	6	13	3	608	243
令和3年度	275	390	106	9	13	13	806	242
令和4年度	326	361	130	5	19	14	855	241

※新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯の生活費の相談は、貸付相談に含む。

## 3. 貸付相談の実施

補助  
委託

目 標／貸付相談から見える生活課題、地域福祉課題を把握します。

取組み／くらしの資金の貸付、償還相談

生活福祉資金の貸付、償還相談

新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付や償還に係る生活相談対応

### （1）生活福祉資金貸付の実態

生活福祉資金では、日常生活上で一時的に資金が必要になった場合に、世帯単位での貸付を行っています。例年はその多くが教育支援資金であり、申請件数が減少した令和2年度と比べ令和3年度、令和4年度は申請件数が増加しました。高校進学においては通信制高校への進学にかかる教育支援資金の相談が増加傾向にあり、申請件数が増えました。

また、令和2年3月25日から始まった新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付は、令和4年9月末日で受付終了となり、令和5年1月より返済が始まる借受人から償還免除や償還猶予申請の相談が多く寄せられました。特例貸付終了後も生活資金の借入を希望される相談は多く、市の自立相談支援機関と連携を図りました。

(生活福祉資金貸付実施実績)

資金種別		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
総合支援 資金	生活支援費	1	420,000	0	0	0	0
	生活支援費(増額)	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0
福祉資金	生業	2	260,125	13	4,413,515	6	1,573,196
	技能習得						
	療養						
	一般福祉	3	300,000	0	0	5	431,000
教育支援 資金	教育支援費	24	8,932,000	42	16,005,000	37	14,021,000
	就学支度費	22	9,114,000	39	15,357,000	37	14,704,000
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	0	0
合計		52	19,026,125	94	35,775,515	85	30,729,160

(生活福祉資金 特例貸付実施実績) 新型コロナ感染症拡大に伴う特例措置

資金種別	令和2年度※1		令和3年度※2		令和4年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
緊急小口資金	1,381	271,900,000	554	109,360,000	120	23,650,000
総合支援資金	1,008	553,760,000	581	322,390,000	105	56,850,000
総合支援資金 (延長)	751	411,650,000	203	114,550,000	0	0
総合支援資金 (再貸付)	224	128,250,000	985	545,350,000	1	600,000
合計	3,371	1,365,560,000	2,323	1,091,650,000	226	81,100,000

※1、2 令和2、3年度の実績報告を訂正しています。

過去実績との差異は、京都府社会福祉協議会から送付された決定通知書の重複や漏れに起因する入力誤り、決定後の送金停止事案、転出入による申請方法や申請窓口が異なったことによる集計違いが主な要因です。令和5年3月28日に「京都府市町村連携システム」の運用を開始したことにより、市町村で貸付決定件数を閲覧できるようになり、検算が可能になったため訂正するものです。

(2) 暮らしの資金貸付事業の実施

補助  
委託

年に2回(夏期:7月、冬期:12月)低所得者世帯を対象に暮らしの資金の貸付(10万円限度)を実施しました。また、5月、9月、1月の年3回、残額通知と督促状を発行して、貸付者への連絡を行いました。例年、貸付世帯の多くがひとり親世帯や高齢者世帯などであり、保証人等を必要としない本貸付を活用して生計の立て直しを図っているケースも見受けられます。

世帯別では高齢者世帯が 32.5%、単身世帯が 30.0%、一般世帯が 22.5%の順になっており、昨年度よりも単身世帯と一般世帯が増えています。

なお、令和2年度、令和3年度では、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、郵送による手続きを行っていましたが、令和4年度はコロナ前の手続き方法に戻り、民生児童委員を相談窓口として行いました。

(くらしの資金貸付件数)

(単位：件)

年度	夏期	冬期	合 計		貸付事由							
			件数	金額 (円)	生活費	医療費	借金返済	失業	交通事故	養育	その他	
令和2年度	14	23	37	3,650,000	35	1	0	0	0	0	0	1
令和3年度	15	13	28	2,800,000	24	3	0	1	0	0	0	0
令和4年度	15	25	40	3,950,000	34	4	0	1	1	0	0	0

(3) 物価高騰対策緊急生活支援事業の実施

補助委託

物価高騰や長期化するコロナ禍の影響による生活困窮世帯に対して、食料・生活必需品等物資を希望者 590 件へ配布しました。その機会を通じて、生活困窮者の状況を把握し、必要な支援につなげることを目的として、生活実態アンケートを実施したところ、物資を届けた世帯の約9割はコロナ前の生活に戻れず、依然として生活苦を訴えていました。アンケートの回答に基づき、必要な情報を提供する等約 50 件フォローしました。中には、医療受診を差し控える傾向にある困窮世帯もあり、低額診療の情報を提供しました。

宇治 補助  
社協 委託

4. 福祉サービス利用援助事業の展開と成年後見制度利用促進法による支援策の検討

目 標／日常生活に不安のある方の生活課題や福祉課題への対応と支援を行います。

取組み／福祉サービス利用援助事業の実施

生活支援員の拡充と資質向上

成年後見制度利用促進法に基づく支援の仕組みづくりの検討

福祉サービス利用援助事業の相談、支援から生活課題を把握し、解決に努めました。具体的には、相談から契約に至るケースでは、世帯構成員全体に福祉的な支援が必要なケースが多くなっています。契約に至るまでの間で、生活環境基盤を整える必要あり、関係者と役割分担をして対応しました。

本来であれば、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が入って調整することが望ましい対応もあります。その役割を関係者で連携し、対応せざるをえない状況が挙がってきています。制度だけで暮らしの基盤を整えるのではなく、民生児童委員なども協力し対応しています。

## (1) 契約状況

(実契約者数) 生・生活保護世帯 非・非課税世帯 他・その他の世帯 (単位:名)

区分	認知症 高齢者等			知的 障がい者等			精神 障がい者等			その他			合計		
	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他
令和2年度	11	7	2	2	9	2	7	18	1	0	1	0	20	35	5
令和3年度	14	5	4	2	12	1	9	19	1	0	1	0	25	37	6
令和4年度	10	8	3	2	12	1	8	19	1	0	2	0	20	41	5

※令和3年度新規契約者(精神障がい、非課税世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者

(新規利用者) 生・生活保護世帯 非・非課税世帯 他・その他の世帯 (単位:名)

区分	認知症 高齢者等			知的 障がい者等			精神 障がい者等			その他			合計		
	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他
令和2年度	4	6	1	2	5	0	1	2	1	0	1	0	7	14	2
令和3年度	6	2	2	0	4	0	5	3	0	0	0	0	11	9	2
令和4年度	0	3	0	0	2	0	2	2	0	0	1	0	2	8	0

※令和2年度新規契約者(精神障がい、生活保護世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者

※令和3年度新規契約者(精神障がい、非課税世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者  
新規相談の急増や既存及び新規契約で支援員につなげることが難しいケースも多く専門員の人数、対応時間を考えると速やかな待機者の解消には至りませんでした。3月末の待機者は14名です。

## (2) 相談調整等の件数の推移

支援開始をして、生活支援員の定期的な訪問のみならず、当会への電話での不安の訴えなどがあるケースも多くなります。そのような場合では、関係者と連携し、支援方針等を統一して互いの役割の確認をしながら関わっています。

(相談・連絡調整活動の実施状況) (単位:回)

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
令和2年度	1,379	709	2,866	43	4,997
令和3年度	1,964	1,164	2,679	46	5,853
令和4年度	1,447	980	3,073	79	5,579

## (3) 生活支援員の資質向上と相互交流・啓発による支援員増員

福祉サービス利用援助事業における「生活支援員」に対して、利用者への相談援助を学ぶための生活支援員新任研修および現任研修(いずれも京都府社会福祉協議会主催)への参加を呼びかけました。コロナ禍のため新任研修は令和4年6月13日動画配信で宇治市総合福祉会館にて実施、3名が参加されました。同様に現任者研修は事前学習(動画配信)に14名が参加、令和5年1月20日のライブ配信(Zoom)には13名が参加されました。支援員同士の交流の「お茶会」は、コロナ禍により令和4年度も中止としました。

**(福祉サービス利用援助事業の紹介・PR)**

日 程	啓 発	場 所
令和4年 5月23日(月)	宇治市健康長寿部・福祉こども部 合同研修	宇治市役所
令和4年 6月29日(水)	新任ケアマネジャー研修会	宇治市生涯学習センター
令和4年12月 9日(金)	民生児童委員 新任研修(1)	宇治市役所
令和4年12月10日(土)	民生児童委員 新任研修(2)	宇治市役所
令和5年 3月 7日(火)	民生児童委員 新任研修(3)	宇治市役所

**(NPO法人山城権利擁護ネットワーク主催 福祉サービス利用援助事業の紹介・PR)**

日 時	令和4年11月5日(土) 11:00~12:00
場 所	生涯学習センター
目 的	福祉サービス利用援助事業の啓発
内 容	福祉にまつわる制度や施策、当事者の権利を擁護する取組みについて、当事業の概要や利用者の状況、関わりの中で大切にしていることなどの説明。
参加者	山城権利擁護ネットワーク主催 法人後見サポーター養成講座 受講者12名
実施して	当事業の生活支援員への活動についてもお声かけしましたが、生活支援員登録に結びつきませんでした。しかし、成年後見などに関心のある市民が参加される本講座での事業紹介やPRには意味があると考え、今後も協力していきます。

**(4) 山城北中部広域社協合同講座(研修や講座等の企画・実施)**

福祉サービス利用援助事業を啓発する機会と、専門員の資質向上を目的に、山城北中部の7市町社協(宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町)と京都府社協との協働で企画を立て、研修や講座等を実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため Zoom で事例検討や情報共有、福祉サービス利用援助事業の啓発できる動画の作成を計画しました。

**(合同会議)**

日 程	①令和4年5月25日(水) ②令和4年6月30日(木) ③令和4年8月 5日(金) ④令和4年9月 1日(木) ⑤令和4年10月7日(金)	⑥令和4年11月14日(月) ⑦令和5年 1月10日(火)欠席 ⑧令和5年 2月14日(火)欠席 ⑨令和5年 3月15日(水)欠席
場 所	宇治市総合福祉会館 (Zoom にて参加)	
目 的	福祉サービス利用援助事業の専門員の資質向上	
内 容	事例検討及び情報共有・福祉サービス利用援助事業の啓発できる動画作成の計画	
参加者	各市町村社協専門員	
参加して	福祉サービス利用援助事業の啓発が出来る動画①制度の概要、②生活支援員向け動画、③専門員向け動画、④利用者向け漫画と分けて作成の計画しました。Zoom を用いてのオンライン開催でした。新型コロナウイルス感染症にまつわり事業運営に工夫が必要な点も多く、他市町村の職員との情報共有は有意義なものになりました。また、困難に感じている事例を共有して、他の市町村の専門員の提案などを聞くことで、事例を提供する側、助言する側、共に相互に学ぶ機会になりました。	

## (5) 専門員の資質向上

福祉サービス利用援助事業において「専門員」の資質向上を目的に研修・会議に専門員・担当係長が参加しました。

### (本人を中心にした権利擁護支援を考える～第二期成年後見制度利用促進基本計画から学ぶ～)

日時	令和4年6月17日(金)13:00~16:55
場所	宇治市総合福祉会館(Zoomにて参加)
内容	1.本人を中心にした権利擁護支援を考える 2.権利擁護支援における日常生活自立支援事業の役割について 3.尊厳ある本人らしい生活の実現するために(意見交換)
参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	本人を中心とした権利擁護とはどういったものなのか、意思決定支援はなぜ難しいのか意思決定のプロセスの事例を用い学びました。福祉サービス利用援助事業、成年後見制度の接点、権利擁護事業に取り組む意義など確認することができました。

### (第1回 福祉サービス利用援助事業 専門員・権利擁護担当者会議)

日時	令和4年8月2日(火)13:30~16:30
場所	宇治市総合福祉会館(Zoomにて参加)
内容	1.令和4年度取組み方針の説明 2.意見交換 ①コロナ渦における権利擁護支援の振り返り ②チーム支援における意思決定・関係機関との連携
参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	コロナ渦における権利擁護支援について事前アンケートをもとに各市町村社協の対応における工夫や課題の具体例を参考に意見交換を行いました。

### (福祉サービス利用援助事業 全体会議)

日時	令和4年12月15日(木)13:30~15:00
場所	宇治市総合福祉会館(Zoomにて参加)
内容	地域福祉権利擁護事業 令和5年度関連当初予算動向及び対策について 京都府社会福祉協議会が担う法人後見のあり方検討会の検討状況について
参加者	市町村社協の事務局長(次長)、権利擁護・地域福祉担当課長、福祉サービス利用援助事業専門員及び担当職員
参加して	住民税非課税世帯への利用料は、京都府の予算により公費免除になっていますが、その予算継続が令和6年度以降は難しい旨などの話がありました。 京都府社会福祉協議会が法人後見監督人として活動をし、市町村社協が法人後見を担う事業についての話がありました。

### (地域福祉権利擁護事業に係る関係機関・団体等との情報・連絡協議会)

日時	令和5年3月2日(木)13:30~16:00
場所	宇治市総合福祉会館(Zoomにて参加)
内容	成年後見制度利用促進に係る国及び府内の動向と今後の取組みについて 地域福祉権利擁護事業と成年後見制度利用促進と地域連携ネットワークについて 地域福祉権利擁護事業と金融機関との連携について(実践例)

参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当・関係機関
参加して	宇佐市成年後見支援センターの取組みの事例発表や、京都府内の各種金融機関の取組みについて学びました。また、成年後見制度と当事業の違いや法律の観点から金融機関の対応が困難になる実例などについても知ることができ、今後に活かします。

**(令和4年度 福祉サービス利用援助事業専門員・実務研修・事例検討会)**

日時	令和5年3月17日(金) 13:30~16:40
場所	宇治市総合福祉会館 (Zoomにて参加)
内容	精神に障がいがある人の支援について 地域福祉権利擁護事業と成年後見制度
参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	精神障がいと障がいのある利用者への支援方法について学びました。他の市町村の事例を知る機会にもなり、対応方法なども専門員の研鑽につながりました。

**(令和4年度 家計相談支援研修)**

日時	令和5年3月22日(水) 10:00~12:00
場所	宇治市総合福祉会館 (Zoomにて参加)
内容	家計相談支援を通じた生活困窮者自立支援と権利擁護支援の有機的連携を図る
参加者	生活困窮者自立支援制度家計改善支援担当職員、市町村社協地域福祉権利擁護・成年後見制度・生活福祉資金貸付事業担当職員各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	家計相談支援と権利擁護支援の連携、関係機関との連携の強化について事例報告及び支援者、利用者側から直接話を伺いました。支援から見えてくる本人の強み、個性を活かすことの重要性を学びました。

**5.生活課題の把握と課題に向き合う団体の活動支援**



目 標／団体の運営支援を通じて団体運営の課題、ニーズを把握します。

団体の活動支援を通じて、当事者の生活課題、地域福祉課題を把握します。

「協議会」の意義を発揮したネットワークのあり方を検討します。

取組み／赤い羽根コラボ助成や各種民間助成金を通じた団体との連携、情報共有  
NPO や市民活動団体等と連携した生活相談への対応

宇治市共同募金委員会の事務局として、助成相談を受ける中で生活課題や地域課題の把握を行うとともに、その支援に向き合う活動者や団体の支援を行いました。

**(1) 赤い羽根コラボ助成金**

宇治市共同募金委員会の事業とし、赤い羽根共同募金配分金を活用した活動支援が行われています。募集事務等は募金委員会の事務局を併せ持つ当会が行っています。助成金相談を入口にしながら、当事者団体やボランティア活動団体の状況把握や課題についての情報収集を行うことが当会として必要と捉えており、活動や事業の原資となる共同募金運動との連動性をもって相談対応しています。

令和4年度も、申請当初の予定から新型コロナウイルス感染症の影響で、事業を変更されることもありました。また、申請当初から実施しないことを決められ、申請を見合わせる事業もいくつかありました。また、申請をされていた事業でも、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業もあり、返金になるケースも複数ありました。事業の申請内容に変更があった場合でも、柔軟に対応することに努めました。

助成金の申請受付をすることで、活動に必要な事柄を捉え、活用できる他制度等を情報提供したり、活動場所の発掘や確保に努めるなど、助成金交付後も活動団体の方と接点を持ち、活動の支援に関わっています。最近では活動が団体ではなく個人からの相談も多い傾向にあります。それを助成金として応援できる仕組みの検討が必要です。

相談を頂いた内容を基に、団体同士のつながりを生み出したり、ネットワークを広げていくことを大切にしたいと考えています。今後は、民間助成金の情報や、団体との連絡も、よりスムーズに行えるよう、ICTを活用しての情報発信や情報共有の方法を検討します。

### (赤い羽根コラボ助成金の助成状況)

年度	申請額(円)	決定額(円)	申請事業件数		決定件数	新規団体
令和2年度	3,263,000	2,229,050	運営費	18	18	1
			事業費	56	56	1
			新規事業	5	5	3
令和3年度	3,143,000	2,558,830	運営費	18	19	2
			事業費	52	51	2
			新規事業	5	5	1
令和4年度	2,907,000	2,515,000	運営費	19	19	4
			事業費	56	56	2
			新規事業	0	0	0

### (赤い羽根コラボ助成金の助成内訳)

	団体名	事業名	助成決定額 (円)	助成確定額 (円)
1	グリーンボランティア「あめノ花」	運営助成	20,000	20,000
2	宇治市肢体障害者協会	運営助成	20,000	20,000
		市民とのふれあい	50,000	0
		卓球バレー交流会	50,000	0
		健康講座	50,000	50,000
3	宇治市字幕つけサークルトトロ	運営助成	2,000	2,000
4	宇治リーディングボランティア	運営助成	20,000	20,000
		視覚障害者向け各種情報の音訳事業	50,000	50,000
		リスナーとURVとの交流事業	50,000	50,000
		音訳ボランティア養成講座事業	20,000	20,000
5	宇治難病患者連絡会	運営助成	20,000	20,000
6	まんぷく会	地域交流懇談会	40,000	0
7	わあわあネット	合同交流会	50,000	50,000
		ミニ交流会	50,000	48,000

8	宇治市子ども会連絡協議会	研修活動	50,000	50,000
		球技大会・グランドゴルフ大会	50,000	50,000
		新春子ども大会	50,000	0
9	NPO 法人わくわく kyoto	SPACE SHOWCASE vol.3	50,000	50,000
10	宇治市視覚障害者協会	点訳ボランティア養成講座	50,000	50,000
		研修旅行	50,000	50,000
		視覚障害者啓発講座	50,000	40,000
11	精神保健サロン「元気です会」	精神障がい者サロン運営事業	46,000	46,000
		精神障がい者野外レクリエーション事業	50,000	20,000
		精神障がい者クリスマス会事業	46,000	46,000
12	宇治市介護者(家族)の会	運営助成	20,000	20,000
		会報「ほのぼの」発行、暑中見舞い、年賀状送付	50,000	50,000
		親睦交流会(介護体験発表とつどい)	50,000	50,000
		サロンせせらぎ(地域のつどい)	50,000	50,000
13	宇治市要約筆記サークル「エコー」	運営助成	20,000	20,000
		機関紙「エコー便り」発行	50,000	50,000
		中失・難聴者コミュニケーション訓練	50,000	50,000
		「高齢者サロン」での聴覚障害者支援	50,000	50,000
14	宇治手話サークル太陽	地域別交流会・交流会	50,000	50,000
		社会見学	50,000	50,000
		新春交流会	50,000	50,000
15	子ども部会 子どもサロン	運営助成	20,000	20,000
16	御蔵山ゆう輪蔵ぶ	運営助成	20,000	20,000
17	宇治市中途失聴・難聴者協会	機関紙「はと」発行発送	50,000	50,000
		みんなの手話勉強会	50,000	50,000
		聞こえの広場・誕生日会	50,000	35,000
18	NPO 法人アウンジャ	運営助成	20,000	20,000
		パソコン技術習得・練習事業	50,000	50,000
		就職前訓練事業	50,000	50,000
		生活相談支援事業	50,000	45,000
19	宇治市連合喜老会	友愛活動	50,000	50,000
		シルバーリーダー研修会	50,000	24,000
20	炭山区町内会助け合い移動支援事業をすすめる会	運営助成	20,000	20,000
21	要約筆記サークル「やまびこ」	運営助成	19,000	19,000
		聴覚障害及び団体への支援	35,000	26,000
		要約筆記者の研修	18,000	8,000
		聴覚障害者と要約筆記の啓発	26,000	14,000
22	宇治市障害児・者父母の会	音楽療法	50,000	50,000

23	宇治市障害者福祉施設連絡協議会	うじ・はんどめいとフェア	50,000	46,000
		市役所ロビーほっとショップ、オープンカフェうじ	50,000	50,000
24	宇治市父子会	父と子のつどい	50,000	50,000
25	京都府原爆被災者の会宇治支部	被爆体験を語る語り部活動	16,000	0
		会員交流会及び健康相談	10,000	0
26	宇治市ろうあ協会	運営助成	20,000	20,000
		第23回敬老会	50,000	30,000
		やまぶき事業	50,000	50,000
		社会見学	50,000	0
27	宇治市連合母子会	運営助成	20,000	20,000
		ひとり親家庭のためのポーリングクリスマス会	50,000	50,000
		ひとり親家庭親子のための夏に冬を感じてみよう!スケート体験	50,000	50,000
		ひとり親家庭親子のためのいちご狩り体験	50,000	50,000
28	宇治地区保護司会	社会を明るくする運動 7月強調月間運動	29,000	29,000
29	おとなの居場所”歌広場”	市民によるつどい	20,000	20,000
30	NPO 法人まちづくりねっと・うじ	すりーぐっどのつどい つながりサロン／認知症を知るセミナー	50,000	50,000
31	NPO 法人京よりそい	運営助成	20,000	20,000
32	宇治おもちゃ箱	運営助成	20,000	20,000
33	宇治地域福祉研究所 (学校 de カフェ)	運営助成	20,000	20,000
		市民向け講演会の実施	50,000	50,000
34	つながるサロン	運営助成	20,000	20,000
35	kinarico	運営助成	20,000	20,000
		にじみ絵体験・親子のおはなし会	40,000	38,000

## (2) 民間助成金の情報提供

福祉活動団体からの相談を受ける中で、生活課題や地域課題の把握を行うとともに民間助成金の情報を案内して、その活動の支援を行いました。令和4年度もコロナ禍で活動を継続する福祉活動団体を支援するための助成金情報も多く、それらを各団体に案内し、申請に必要な推薦文の記入や申請・報告にかかる取りまとめを行うなどのサポートを行いました。

(民間助成金の助成状況) ※本会が事務取扱をして助成決定に至った団体分のみ掲載

助成団体	助成金名	助成団体
大和証券福祉財団	第29回ボランティア活動助成	ともしび
太陽生命厚生財団	2022年度事業助成	宇治市要約筆記サークル「エコー」 宇治リーディングボランティア

## 6. 生活困窮者自立支援事業における学習支援事業の取組み

目 標／中学生の学習習慣の定着を目指した支援を行います。

若年層への地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくりに生かします。

取組み／週2回の学習支援事業の実施

子どもの貧困対策の一助となることを目的に、平成29年度より、生活困窮者自立支援法に基づく中学生の学習支援事業「うじピヨンの学び舎」を運営しています。宇治市から委託を受けた取組みです。中学生の学習習慣の定着を図るため、原則、週2回2時間の開催に加え、夏休みや高校入試の前には週3回開催しています。

生徒数は、4月の時点で11名からスタートし、早くも9月には定員の15名に達しました。そのうち、中学3年生に関しては、4名全員が志望校に合格しました。公立高校の中期選抜の直前には、自宅で集中して勉強することが難しい生徒から「開催時間を増やしてほしい」と要望があり、当会が管理するコミュニティスペースの理容アズマ跡を用いて、特別に土曜に3年生が受験勉強をする場を設けたこともありました。進学にあたっては、教育支援資金の貸付相談へと円滑につながる場面もあり、日ごろから持っている保護者や生徒とのかかわりを活かすことができました。

学習支援員には、主に大学生に参加いただいています。自らの近い将来の姿と重なる大学生とのかかわりは、中学生が進路について考えるきっかけとなるためです。今年度は、昨年度より利用をはじめたボランティア募集サイト「activo」からの応募、社会福祉士の実習生や京都文教大学の「ボランティア演習」受講者の受入れ期間後の継続的な参加など、様々なルートからボランティア希望がありました。年度末には、3年前まで「うじピヨンの学び舎」に生徒として通っていた卒業生が、高校卒業を目前に控え、今度は学習支援員として教室に戻ってきてくれるという、うれしい出来事もありました。

結果として、令和4年度は、実施回数、参加延べ人数、学習支援員延べ人数のすべてにおいて、事業開始以来、最も多い数となりました。

## (学習支援事業の開催状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	8	8	9	9	10 (1)	9	9	8	8	9	11	10	108
参加人数 のべ(人)	72	61	79	66	82	91	84	65	82	72	100	93	947
学習支援員 のべ(人)	34	50	52	42	50	47	43	45	47	37	50	45	542

※( )内の数字は、悪天候により事業を中止した回数。

## (学習支援事業の実施推移)

年度	令和2年度※	令和3年度	令和4年度
回数	92	84	108
参加人数(のべ)	653	824	947
学習支援員(のべ)	319	363	542

※令和2年度は、生徒宅にのべ13回、のべ18名の見守り訪問を行いました。

## 第4章 法人運営及び財務運営の強化

社会福祉法人としての法人運営の強化を図るとともに、当会活動の広報周知に努めます。また、地域福祉を展開していくために必要な財源基盤の強化として、従来からの会員募集や自動販売機の設置拡充を図るとともに、積極的な助成金の活用や遺贈等の働きかけ等、新たな財源確保の方法に取り組めます。

### 1. 時代に即した法人運営の強化

宇治  
社協

目 標／時代に即した社会福祉協議会の運営を進めます。

取組み／三役会の実施

理事会の実施

評議員会の実施

定期監査の実施

衛生委員会の設置

社会福祉法人としての組織強化や当会の広報周知、地域福祉推進のための財源づくり、働き方改革などの時代の情勢に応じた法人運営を行いました。

#### (1) 三役会、理事会、評議員会、定期監査の実施

正副会長会（三役会）、理事会、評議員会、監査、評議員選任・解任委員会を適宜開催しました。感染症対策のため、対面出席とオンライン出席の併用による実施を継続しました。

#### (三役会の開催状況)

三 役 会	第1回:令和4年 5月17日(火) 9:00~12:00 総合福祉会館
	第2回:令和4年 7月15日(金) 9:00~12:00 総合福祉会館
	第3回:令和4年 8月31日(水) 9:00~12:00 総合福祉会館
	第4回:令和4年10月21日(金) 9:00~12:00 総合福祉会館
	第5回:令和4年12月 6日(火) 9:00~12:00 総合福祉会館
	第6回:令和5年 1月13日(金) 14:00~17:00 総合福祉会館
	第7回:令和5年 2月21日(火) 9:00~12:00 総合福祉会館

#### (理事会・評議員会の開催状況)

理 事 会	第1回:令和4年5月27日(金) 13:30~16:00
	出席理事13名/出席監事2名(内、1名オンライン参加)
	<議案>
	①補欠評議員の選任候補者の推薦について
	②補欠評議員の選任候補者の推薦について
	③評議員選任・解任委員会の開催について
	④令和3年度事業報告について
⑤令和3年度社会福祉事業拠点区分決算について	
⑥令和3年度収益事業拠点区分決算について	

<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦令和4年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正案について</li> <li>⑧理事候補者の推薦について</li> <li>⑨事務専決規程の一部改正について</li> <li>⑩職員就業規則の一部改正について</li> <li>⑪嘱託職員に関する規程の一部改正について</li> <li>⑫衛生管理規程の制定について</li> <li>⑬衛生委員会に関する規程の制定について</li> <li>⑭福祉活動費交付要綱の一部改正について</li> <li>⑮目的指定寄附金の配分について</li> <li>⑯評議員会の開催について</li> </ul>
<p>第2回:令和4年9月5日(月)13:30~14:30 出席理事12名(内、1名オンライン参加)/出席監事1名 &lt;議案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和4年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正案について</li> <li>②職員の育児休業、介護休業、労働の制限及び短時間勤務等に関する規程の一部改正について</li> </ul>
<p>第3回:令和4年12月16日(金)10:00~11:20 出席理事12名/出席監事1名 &lt;議案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①移動支援事業の廃止について</li> <li>②評議員の選任候補者の推薦について</li> <li>③評議員の選任候補者の推薦について</li> <li>④評議員の選任候補者の推薦について</li> <li>⑤評議員の選任候補者の推薦について</li> <li>⑥評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>⑦職員給与規程の一部改正について</li> <li>⑧ストレスチェック制度実施規程の制定について</li> <li>⑨第181回評議員会の開催について</li> </ul>
<p>第4回:令和5年3月10日(金)10:00~12:00 出席理事13名/出席監事1名(内、1名オンライン参加) &lt;議案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①職員給与規程の一部改正について</li> <li>②嘱託職員に関する規程の一部改正について</li> <li>③社会福祉金庫の徴収不能に伴う欠損処理について</li> <li>④令和4年度 社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正案について</li> <li>⑤令和5年度 事業計画案について</li> <li>⑥令和5年度 社会福祉事業拠点区分資金収支予算案について</li> <li>⑦令和5年度 収益事業拠点区分資金収支予算案について</li> <li>⑧第182回評議員会の開催について</li> </ul>

評 議 員 会	<p>第1回 定時評議員会(第180回):令和4年6月20日(月)14:00~15:55  出席評議員21名(内、4名オンライン参加)/出席理事8名/出席監事2名(内、1名オンライン参加)  &lt;議案&gt;  ①理事の選任について  ②令和3年度事業報告の承認について  ③令和3年度社会福祉事業拠点区分決算の承認について  ④令和3年度収益事業拠点区分決算の承認について  ⑤令和4年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正の承認について  ⑥事務専決規程の一部改正について</p>
	<p>第2回 評議員会(第181回):令和5年1月25日(水)(中止)  &lt;議案&gt;  ①移動支援事業の廃止について  ②令和4年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正の承認について  ※雪のため中止となり、次回の評議員会にて決議を行った。</p>
	<p>第3回 評議員会(第182回):令和5年3月27日(月)10:00~11:40  出席評議員29名(内、5名オンライン参加)/出席理事11名/出席監事1名  &lt;議案&gt;  ①移動支援事業の廃止について  ②社会福祉金庫の徴収不能に伴う欠損処理について  ③令和4年度社会福祉事業拠点区分第2次補正予算の承認について  ④令和4年度社会福祉事業拠点区分第3次補正予算の承認について  ⑤令和5年度事業計画案の承認について  ⑥令和5年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算案の承認について  ⑦令和5年度収益事業拠点区分資金収支予算案の承認について</p>

**(評議員選任・解任委員会)**

実施日①	実施日:令和4年6月1日(水)9:30~9:46
	出席者:評議員選任・解任委員3名 内容:①委員長の選出について ②評議員(第1号)の選任について(1名) ③評議員(第4号)の選任について(1名)
実施日②	実施日:令和4年12月27日(火)13:50~14:00
	出席者:評議員選任・解任委員3名 内容:①委員長の選出について ②評議員(第2号)の選任について(4名)

**(期末監査)**

実施日	令和4年5月12日(木)13:30~15:00
出席者	出席監事2名/出席理事1名
内容	① 令和3年度 業務監査 ② 令和3年度 財務監査

### (中間監査)

令和4年度は、中間監査は実施しませんでした。

### (2) 衛生委員会の実施

令和4年度より、常時雇用する職員（事務局職員、生活支援員、ガイドヘルパー）が50名を超えたことに伴い、労働安全衛生法第18条に基づき、衛生委員会を設置することになりました。そこで、産業医を設置し、職員の健康と職場環境の整備に努めました。

### (衛生委員会)

開催日	令和4年9月から第3水曜日 14:00～15:00
出席者	委員長1名、衛生管理者1名、産業医1名、事業所1名、労働者2名、事務局1名
内容	職場巡視（週1回は衛生管理者が実施、月1回は産業医が実施） 職場環境の整備について、ストレスチェックについて
開催して	初めて設置した委員会でありましたが、産業医の助言のもと、職場環境の整備を中心に、また、ストレスチェックの導入に至りました。今後も、健康診断、ストレスチェックなど職員が自身の健康と向き合える環境を整えるほか、職場としての整理整頓を含め、職員が互いに職場環境を良くするためにできることを考えていきます。

## 2. 財源づくりの強化に向けた取組み

目 標／収支バランスなど、今後の適切な法人運営に向けた財源のあり方を検討します。

取組み／積極的な会員（住民会員、事業所会員、施設会員、団体会員、賛助会員）募集の呼びかけ

1㎡のできる社会貢献事業（収益事業）による飲料用自動販売機設置の拡充  
寄附金の受入れと基金の適正運用  
遺贈等の積極的な受入れ

### (1) 会員募集の増強

令和4年度の会員募集実績は、令和3年度に比べ50万円余りの減額となりました。自治会・町内会への加入率の低下やコロナ禍での自治会、町内会の活動縮小の影響もあり、住民会費や寄付金が減少しています。また、事業所会員募集は、取組み時期が後ろ倒しとなったことも影響し、大幅な減少となりました。各学区福祉委員会との連携により、積極的に事業所等への依頼を進めることが必要です。今後の福祉活動財源を継続的に確保・増強するための検討が必要です。

地域の介護予防教室や学区福祉委員会が実施されている配食活動を利用する地域住民からは、町内会を通じての加入協力ができなくなったが、今後も当会の活動を応援していきたい、という温かい声もいただいています。身近なところで展開されている福祉活動のこと、それを推進していただいている地域の活動者の存在やそれらとの関わり等について、地道に周知したり発信したりすることも重要です。

### (令和4年度 会員募集の状況) (単位 円)

	当会の会費・寄付金
令和2年度	11,245,116
令和3年度	10,471,120
令和4年度	9,963,608

(令和4年度 会員種別ごとの状況)

(単位:円)

	住民会費	寄附金※	賛助会費	事業所会費	団体会費	施設会費	特別賛助会費
令和2年度	8,450,500	1,225,064	104,644	301,000	399,908	306,000	458,000
令和3年度	7,419,500	1,425,170	99,300	401,000	455,700	215,000	455,450
令和4年度	7,253,000	1,350,153	108,345	219,000	421,610	200,000	411,500

※この表に記載の寄附金額は、住民会員募集時の一口500円に満たないご協力をいただいた額の合計のため、決算書記載の経常経費寄附金の額とは異なります。

(2) 1㎡でできる社会貢献(自動販売機設置事業)の推進

企業等の社会貢献を進める観点から様々な法人や事業所、地域の学区福祉委員会等のご協力を得ながら飲料用自動販売機を設置しています。10月からの電気料金改定や飲料品の値上げを受けて全体的に自販機の売上実績が減少しています。電気料金の値上げなどの影響により新規設置要件が変わり、今後の設置台数の増数は、厳しい状況にあります。

(自動販売機手数料収益実績)

(単位:円)

	設置場所	総額
1	(株)ミヤモト	108,355
2	旦棕公会堂	170,174
3	開地域福祉センター	119,644
4	東宇治地域福祉センター	138,748
5	桑田建設	74,648
6	リエゾン宇治おおくぼ	89,532
7	リジェール柳田	199,073
8	マークアップ大久保	88,830
9	デイサービスみやび	57,832
10	ユニチカユニオン宇治	122,291
11	ハーモニー東風館	23,667
12	総合福社会館	30,530
13	あさくら診療所	113,778
14	まごころ西宇治	93,503
15	神明神社	105,059
16	地域福祉支援センター宇治小倉	113,136
17	宇治市役所西側駐輪場	145,618
18	個人私有地(西笠取)	103,732
19	山城福社会	44,526
	合計	1,942,676



(自動販売機設置事業の推移)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
台数	20	20	19
金額(円)	2,175,749	1,997,787	1,942,676

### (3) 寄附金の受入れと「ふれあい基金」「ボランティア基金」「災害時支援活動準備金」の適正運用

様々な方から寄附を受入れ、「ふれあい基金」「ボランティア基金」の運用による財源確保に努めました。令和4年度は、寄付を募るイベント事業の回復が見られ、総額は増加しています。

#### (寄附金・寄附物品の推移)

(下段:円)

年度	ふれあい基金寄附	災害時支援活動準備金※1	目的指定寄附	寄附物品
	件数・金額	件数・金額	件数・金額	件数・内容
令和2年度	28件 510,243	1件 3,000	4件 240,000	17件 玄米、りんご、菓子、マスク・タオル、机他
令和3年度	10件 639,862	1件 3,000	4件 260,000	12件 りんご、筆記用具、車いす、他
令和4年度	17件 1,399,595	0件 0	2件 80,000	8件 米、スクリーン、文具、座布団、シャワーキャリー他

※会館窓口ふくろう募金等、複数回寄付先は1件とカウント。

※災害時支援活動準備金は、社協会費の2%分を含まず、目的指定寄附として受けた分のみ掲載

#### (各基金運用実績)

(単位:円)

年度	ふれあい基金			
	運用益、債券売却益	基金積立	基金取崩し	基金額
令和2年度	561,506	1,609,312	0	200,578,241
令和3年度	597,280	1,739,862	0	202,318,103
令和4年度	597,280	2,499,595	0	204,817,698

年度	ボランティア基金	
	運用益、債券売却益	基金額
令和2年度	266,814	121,788,928
令和3年度	272,304	121,788,928
令和4年度	264,637	121,788,928

### (4) 遺贈等の積極的な受入れ

遺贈の受け入れを進めるために、自主的に研修等に参加をしました。抽象的な利用方法で寄付を募るのではなく、もう少し明確にしてから寄付を募る必要性を学びました。

### 3. 多角的な広報の取組み

- 目 標／地域福祉活動や生活課題、社会課題を広く周知し、地域福祉への関心を高めます。
- 取組み／広報紙「社協だより」の発行や事業ごとの PR チラシ、ミニ広報紙の活用
- 洛タイ新報への掲載による「月イチうじピョンの〇〇な話」の連載
- SNS やホームページによる情報発信

当会の活動や地域福祉活動・ボランティア活動に取り組んでいる団体、施設等の情報を社協だよりの発行や、SNS 等を活用した広報、洛タイ新報様のご協力による記事掲載などにより、地域福祉活動や当会の活動を知らない人たちに向け、情報を発信してきました。令和4年度は、70周年記念として、11月2日に開催した70周年記念パネルディスカッションとこれまでの歴史を紐解く冊子を作成しました。

#### (広報紙「社協だより」の発行)

実施日	①6月15日号 ②9月15日号 ③3月15日号
場 所	市内約 80,000 世帯にポスティング
目 的	当会事業の周知および各種団体、活動情報の集約と発信
内 容	<p>①社協(社会福祉協議会)って、何しているところ?(事業計画から当会の紹介)／地域福祉活動拠点(コミュニティスペース)の運用／1㎡でできる社会貢献事業／寄附・遺贈相談受付中／令和3年度会員募集協力団体・事業所の紹介</p> <p>②「じぶんの町を良くするしくみ」赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします。 (インターネット募金、税制優遇措置、助成先の取組み紹介(つながるサロン・サロン巨椋))／京都府南部地域豪雨災害から10年／宇治ボランティア活動センター「生活応援隊」／うじピョンの「地元に出かけよう」(催し物紹介)／令和3年度決算、令和4年度予算／寄附のお礼</p> <p>③英知と工夫でのりこえて～にぎわいをとり戻しつつある学区福祉委員会の取組みに注目!～(西大久保学区福祉委員会「熟年の集い」・槇島学区福祉委員会「槇福まつり」、学区福祉委員募集)／令和4年宇治福祉のつどい報告／デイサービスセンターくま「音読」の取組み紹介／Hot!ふれあいサロン事業助成金募集／赤い羽根コラボ助成金募集／うじピョンの「地元に出かけよう」(催し物紹介)／寄附のお礼・寄附・遺贈相談受付中</p>
実施して	当会の事業広報と同時に、各種団体活動の情報集約と発信など、社会福祉協議会の担う役割を意識しながら発行しています。発行後は、掲載された団体に関する問い合わせを受けることも多く、宇治市内に全戸配布している広報誌としての強みを感じました。今後も各種グループの催しを市内全体に PR することで、市民の地域福祉推進・ボランティア活動の振興へ関心を高められるよう努めていきます。

(月イチうじピョンの〇〇な話の掲載)

実施日	毎月末(不定期)
目的	当会の認知度の向上および、市民に地域福祉・ボランティア活動を伝える。 職員の「伝える力」の資質向上
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い羽根共同募金を財源にした助成金を募集しています～赤い羽根コラボ助成金～</li> <li>・地域福祉活動は、特別じゃない「安心」を創る活動～ヒヨドリの子育てに思う「見守り」～</li> <li>・疲れた心に「気持ちの換気」はいかがですか?～宇治市介護者リフレッシュ事業～</li> <li>・「コグニサイズ」で広がれ!健康づくりの輪</li> <li>・あなたの地域生活を見守ってくれている人がいます(実習生)</li> <li>・わたしたちの「宇治自慢」～赤い羽根共同募金が始まりました～</li> <li>・地域活動の源～共同募金運動の取組みを通して～(実習生)</li> <li>・誰かのために、じぶんのために～自利利他を体現する歳末たすけあい～</li> <li>・地域を感じる事務仕事</li> <li>・「〇〇な話」100回を迎えて～私たちが伝える「これから」～</li> </ul>
実施して	<p>洛タイ新報のご厚意によって掲載をいただき、令和4年度は、掲載100回を迎えることができました。現状、行事の告知が多くなっていることが課題です。地域福祉活動の現場での思いを投げかけたり、地域で活動する団体を取り上げたりする機会が少なくなっています。この節目を機に、地域福祉の推進のため、職員が何を伝えていくのかを改めて確認しながら、令和5年度以降も掲載を進めていきたいと考えています。</p>

#### 4. 人材育成の取組み

目 標／社協役職員としての資質向上を図ります。

効率かつ効果的な福祉実践への専門性の強化を図ります。

取組み／役員・職員研修の実施

各種研修会の情報提供と参加調整

令和4年度は、職員研修で「当事者理解を深める」として、人権尊重や生きづらさ暮らしにくさにかかる人たちの「思い」を知ること学ぶこととしました。

##### 【職員研修】

日 時	①令和4年11月10日(木)、11日(金)、14日(月)、15日(火)、22日(水) ②令和4年11月30日(水)18:00~20:00
目 的	職員の資質向上を目的に、生きづらさ、暮らしにくさをかかえる人たちの「実際」を学ぶ
内 容	①手話に学ぶ(グループに分かれての学習会) 講師:宇治市ろうあ協会、宇治手話通訳者協会 ②全体研修会 【講演】アルコール依存症に学ぶ 講師:平安断酒会大久保支部 猪田喜隆氏 一般社団法人ひとひら 田辺暢也氏
実施して	手話だけでなく、当事者について学ぶことをテーマに企画しました。手話学習は2回目でしたが、年1回でも触れる機会が大切だと感じました。当事者の手話との出会い、かわりもひとりひとり違うことを知り、より講師であるろうあ者個人との向き合い方も学ぶ機会になりました。全体研修会での当事者の話は、「初めて」聞く人が多く、職員ひとりひとりの学びや気づきにもつながりました。「広報」とは広く知らせる意味合いもありますが、届いてほしい人に知ってほしいものです。当事者団体の方たちが、チラシをなぜ私たちに託されているのかを考えることができました。



職員研修「手話に学ぶ」の様子

## 5. 宇治福祉まつり検討委員会の開催

目 標／地域福祉の推進を図る取組みとしての福祉まつりのあり方を検討します。  
取組み／宇治福祉まつりの意義や今後のあり方についての継続協議

令和3年度の会合で、令和5年度以降形を変えて取り組むことができるようにと確認されていましたが、会合が持たず、結論が出ていません。他の会合等で出会う際に、委員に確認すると、これまでの福祉まつりにとらわれない形などを考えておられたり、コロナ収束を見据えた取組みイメージなどもあり、多様な意見を聞く機会がありました。いずれにしても、従来の福祉まつりではないイノベーションが求められており、令和5年度に形の提案を考えていくことになります。

## 6. 宇治市総合福祉会館の管理運営

目 標／地域福祉活動の拠点として市民に活用してもらいやすい施設運営を行います。  
取組み／宇治市総合福祉会館の管理

老人福祉センターの運営（入浴施設等の利用）  
利用者アンケートの実施

令和4年度は、令和3年度に引続き三密をさけるために、部屋や風呂の利用人数制限を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者に手洗い及び消毒の徹底を呼びかけ、CO2センサーや空気清浄機を利用した部屋環境で利用できるようにしました。

施設面では、部屋の机、椅子の配置を見直し利用しやすいようにしました。また、お部屋の予約に関して希望申請できる仕組みを作り、月初めに集中していた申込を緩和することができました。

### （総合福祉会館団体利用状況）

（単位：名）

	会館 日数	1階利用計		2階利用計		3階利用計		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
令和2年度	254	302	1,602	1,953	20,627	1,028	12,589	3,283	34,818
令和3年度	220	400	1,662	1,867	20,055	1,256	15,078	3,523	36,795
令和4年度	294	553	2,561	2,687	31,204	1,966	22,115	5,206	55,880

※1階：身体障害者福祉センター、2階：老人福祉センター、3階：福祉センター

### （老人福祉センター個人利用人数）

（単位：名）

	男性	女性	合計
令和2年度	1,853	745	2,598
令和3年度	2,562	1,562	4,124
令和4年度	4,169	2,951	7,120

### （浴室利用者数）

（単位：名）

	男性	女性	合計
令和2年度	973	661	1,634
令和3年度	2,130	1,545	3,675
令和4年度	3,301	2,939	6,240

**7. 宇治市共同募金委員会の運営と赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動の実施**  
 目 標／共同募金運動の展開を通じて寄附文化の醸成を図ります。

その時々の課題に対応した共同募金の活用ができるよう、活動団体等からの情報収集に努めます。

取組み／運営委員会の実施

審査委員会の実施

募金推進会議の実施

赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動の展開

日頃の相談対応でのニーズを元にした共同募金の有効活用の検討

10月1日から3月31日まで展開される赤い羽根共同募金(種別:戸別、グループ、個人、街頭、資材、学校、その他)と、12月1日から12月31日まで展開される歳末たすけあい募金運動を様々な方法で市民に周知しました。運動を進めるにあたり、宇治市共同募金委員会の事務局として、運営委員会を2回(オンライン併用)開催しました。

令和4年度は、2年振りに街頭募金運動を実施しました。参加協力団体はコロナ禍前の約半数となりましたが、参加団体からは、「自団体のメンバーと一緒にあって取り組める機会となって良かった」など、街頭募金の再開への喜びの声がありました。

また、共同募金の配分の透明性を担保するために、審査委員会を実施しました。宇治市社会福祉協議会に日頃、寄せられる相談や地域の声を元に、共同募金の地域でのニーズや求められる役割について協議しました。

例年同様、民間こども園や保育園を通じての組立式募金箱による募金活動や、小中学校での募金箱の設置を通じて、子どもたちや子どもを持つ親世代への募金協力を呼びかけました。

(募金実績)

(単位:円)

	一般募金	歳末募金	合計
令和2年度	9,797,885	6,855,584	16,653,469
令和3年度	9,313,780	6,690,566	16,004,346
令和4年度	9,435,086	5,950,607	15,385,693

(各委員会の開催状況)

運 営 委 員 会	第1回:令和4年7月14日(木)10:00~12:00
	場所:宇治市総合福祉会館 ※オンライン併用
	参加者:運営委員:対面16名・オンライン1名・委任状7 監事:1名
	①補欠運営委員の選任について
	②令和3年度事業・決算・監査報告について
	③令和4年度推進計画の承認について
④審査委員会の新任期の体制について	
⑤サロン助成金・赤い羽根コラボ助成金審査結果報告について	
⑥令和5年度事業配分計画(令和4年度募金)について	

	<p>第2回:令和5年3月24日(金)13:30~15:30  場所:宇治市総合福祉会館 ※オンライン併用  参加者:運営委員:対面12名・オンライン3名・委任状7 監事:1名</p> <p>①補欠運営委員の選任について  ②補欠審査委員の選任について  ③令和5年度事業計画(案)・予算(案)について  ④令和4年度宇治市共同募金委員会活動状況・審査委員会の開催状況について</p>
審査委員会	<p>第1回:令和4年6月16日(木)10:00~11:30  場所:宇治市総合福祉会館  参加者:審査委員6名</p> <p>①審査委員長の選任について  ②令和3年度募金運動結果の概要について  ③市内団体の助成申請に関する審査及び意見交換  ④令和5年度事業(令和4年度募金)への募金配分方針について</p>
	<p>第2回:令和5年3月7日(火)10:00~12:00  場所:宇治市総合福祉会館  参加者:審査委員5名</p> <p>①宇治市共同募金委員会活動状況について  ②令和4年度配分事業の配分金執行状況について  ③令和5年度事業への配分金(令和4年度募金及び令和3年度募金未交付分)  ④共同募金における地域福祉活動について  ⑤共同募金の新たな取り組みに向けての意見交換について</p>
募金推進会議	<p>第1回:令和4年9月20日(火)10:30~12:00  場所:宇治市総合福祉会館  参加者:運営委員14名 推進団体32団体・32名</p> <p>①宇治市共同募金委員会運営委員・監事・審査委員について  ②令和3年度宇治市共同募金委員会 活動結果について  ③令和4年度推進計画について  ④共同募金郵便振替口座の変更にかかる諸注意について(取扱払込票の変更)</p>